

2015年12月25日
株式会社日本政策金融公庫
中小企業事業本部
保険企画部

信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2015年度下期調査)

定例調査

- 【概況】 ・中小企業向け貸出D.I.は、引き続きプラスで推移
・信用保証付貸出D.I.は、引き続きマイナスで推移
・条件変更D.I.及び代位弁済D.I.は、引き続きマイナスで推移

【中小企業向け貸出】

- 中小企業向け貸出D.I.は4.0と6期連続でプラス。
次期見込みは横ばいの4.3。

【信用保証付貸出】

- 信用保証付貸出D.I.は▲8.0と9期連続でマイナス。
次期見込みは▲4.1とマイナス幅がやや縮小。

【信用保証付貸出における条件変更】

- 条件変更D.I.は▲6.5と7期連続でマイナス。
次期見込みは横ばいの▲5.9。

【金融機関から信用保証協会への代位弁済請求】

- 代位弁済D.I.は▲10.6と5期連続でマイナス。
次期見込みは▲8.8とマイナス幅がやや縮小。

特別調査

～金融円滑化法終了後の条件変更先への取組状況について～

- ・金融円滑化法終了後、約2年半が経過したものの、条件変更の解消・正常化の見通しが明確になっている企業は少数にとどまっている。

【金融機関が積極的に取り組んでいる条件変更企業への支援】

- 「経営改善計画の策定支援」が最多、次いで「コンサルティング」、「外部専門家の派遣・紹介」が続く。

【経営改善計画書を提出している企業・計画どおり進んでいる企業の割合】

- 5割超の金融機関が「経営改善計画書を提出している企業は5割以上」と回答。一方で「計画どおり進んでいる企業が5割以上」と回答は約3割にとどまっている。

【条件変更の解消・正常化見通しが明確な企業の割合】

- 約9割の金融機関が「条件変更の解消・正常化の見通しが明確な企業は4割未満」と回答。

【金融機関が保証協会に期待する条件変更企業への支援】

- 「条件変更への柔軟な対応」等の金融支援に関する期待が大きい。経営支援では「経営改善計画の策定支援」、関係機関との調整では「返済計画見直しに係る金融機関間の調整」への期待が大きい。

＜お問合わせ先＞

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 保険分析グループ（担当：宮本、高松）

TEL：03-3270-2384 FAX：03-3242-0033 E-mail：cnhbunseki@jfc.go.jp

本資料は日本銀行金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

信用保証に関する金融機関アンケート調査結果の概要 (2015年度下期調査)

<調査の要領>

調査時点	2015年10月
調査方法	郵送による記名式アンケート調査
調査対象	272の金融機関(都市銀行5、地方銀行64、第二地方銀行41、信用金庫137、信用組合25) (信用金庫および信用組合については各々一定額以上の保証債務残高を有する金融機関)
回答数	250の金融機関(都市銀行5、地方銀行56、第二地方銀行38、信用金庫126、信用組合25)
回答率	91.9%

<特別調査>

金融円滑化法終了後の条件変更先への取組状況について、調査を実施。

(注) $D.I. = (\text{「増加」と回答した金融機関の割合} + 0.5 \times \text{「やや増加」と回答した金融機関の割合}) - (\text{「減少」と回答した金融機関の割合} + 0.5 \times \text{「やや減少」と回答した金融機関の割合})$ 。前年同期比での増減見通し。

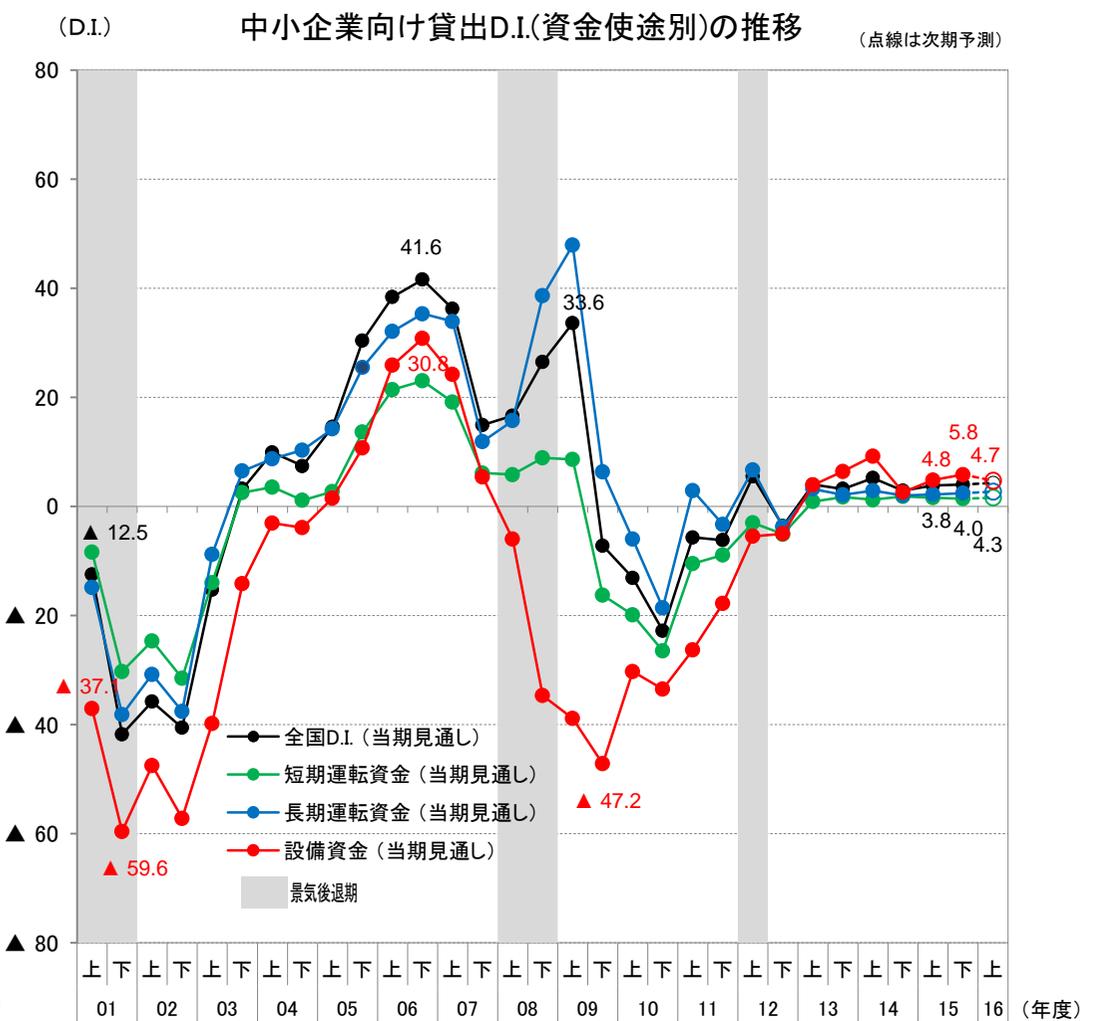
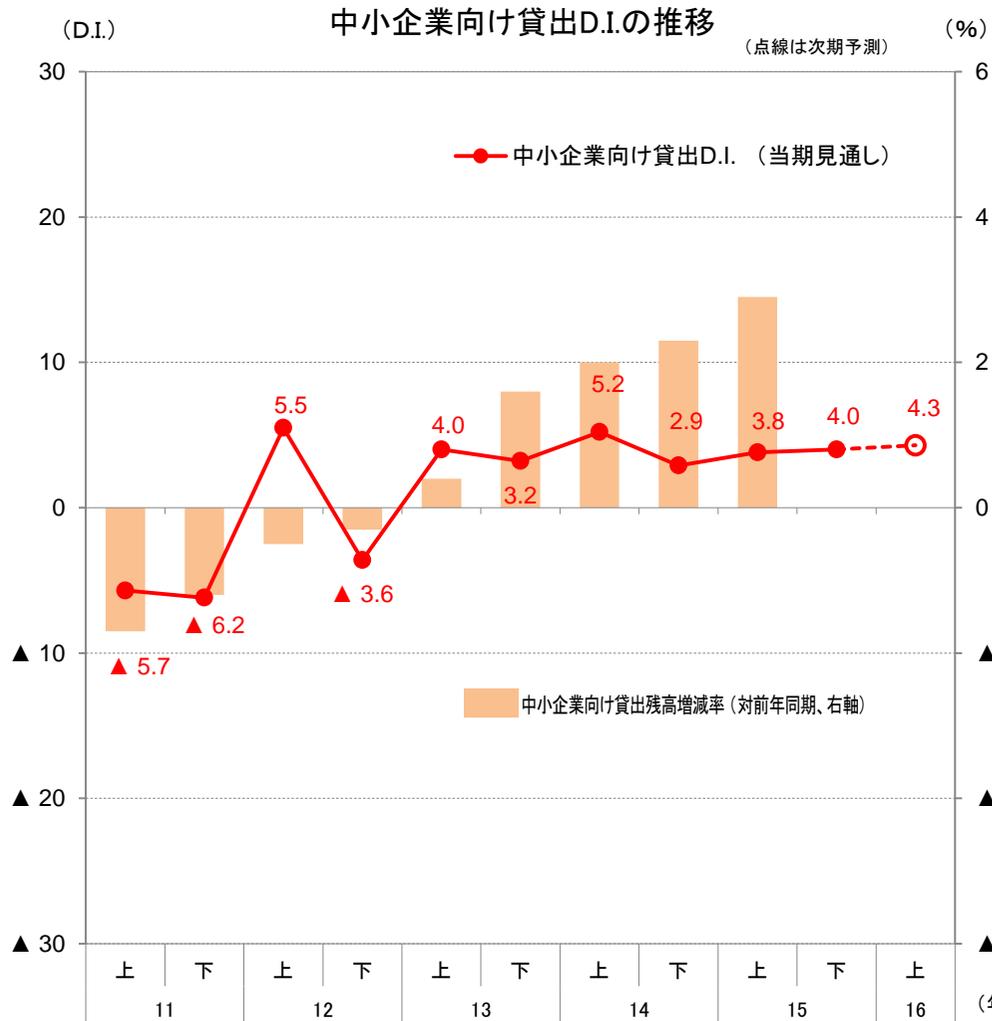
(注) 地域別集計は、都市銀行の回答は含まず、以下の都道府県に本店を構える金融機関の回答を集計したもの。

【 】内の数字は、回答金融機関数／調査対象機関数。

東北・北海道【32/35】: 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 関東甲信越【83/89】: 新潟、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
 東海・北陸【50/53】: 静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井
 近畿【33/37】: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 中国【18/19】: 鳥取、島根、岡山、広島、山口
 四国【8/8】: 香川、徳島、高知、愛媛
 九州・沖縄【26/31】: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

1. 中小企業向け貸出の動向について

- ◆ 中小企業向け貸出D.I.は、2013年度上期以降、6期連続でプラス。次期は横ばいの見込み。
- ◆ 資金使途別にみると、設備資金のプラス幅がやや拡大。次期はやや縮小の見込み。



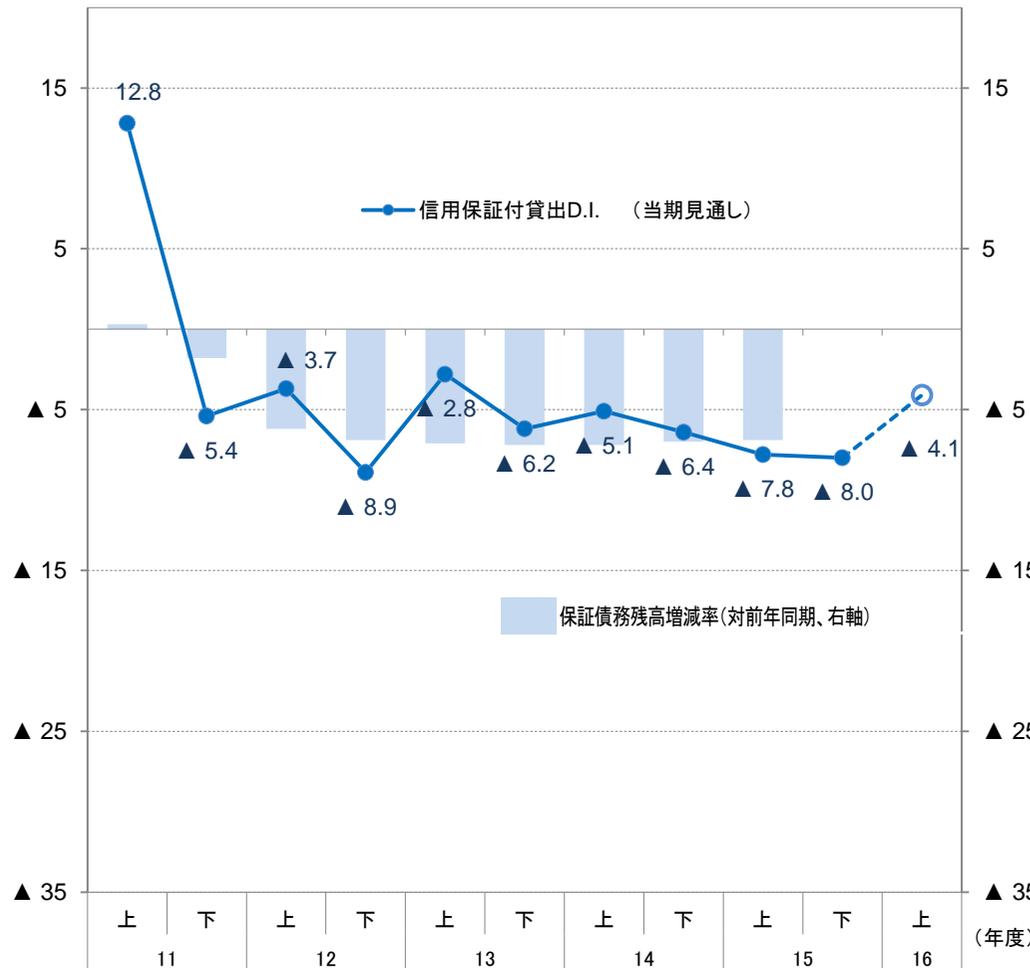
2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

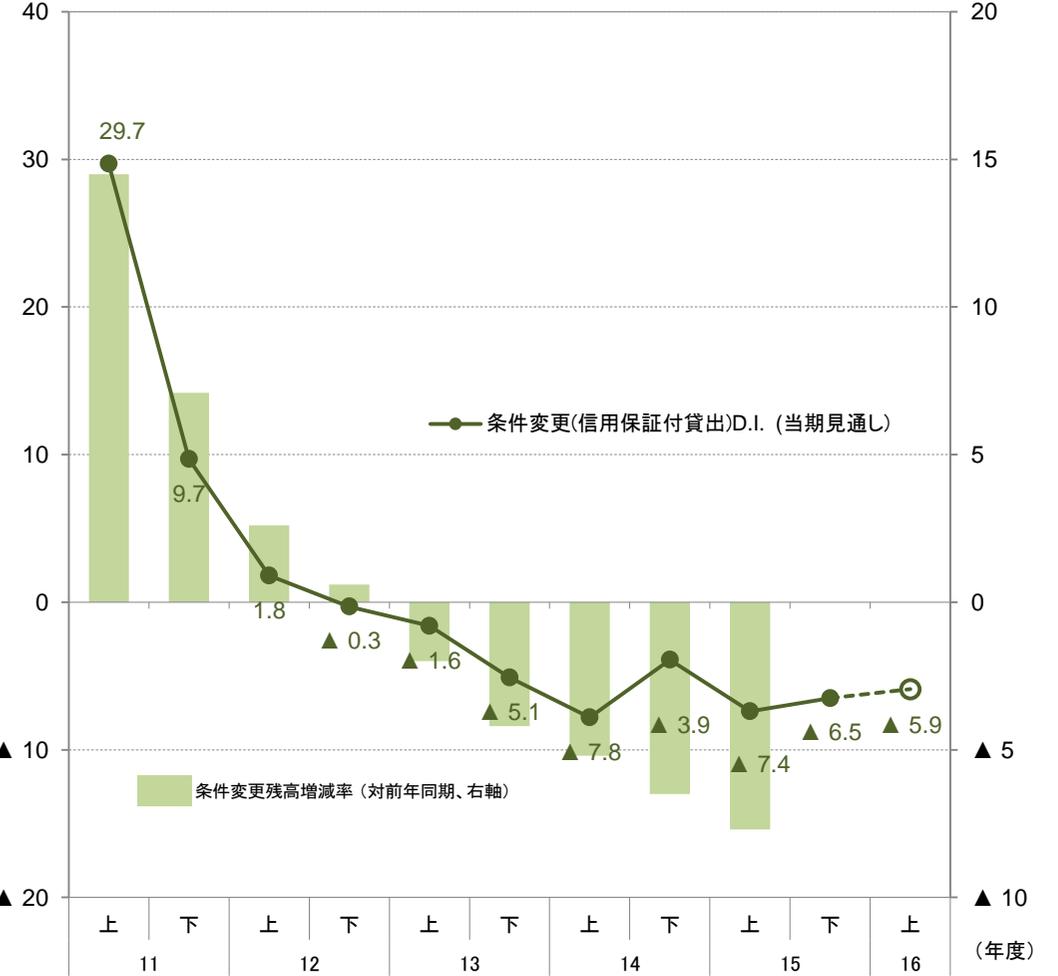
2. 信用保証付貸出の動向について

- ◆信用保証付貸出D.I.は、2011年度下期以降、9期連続でマイナス。次期はマイナス幅が縮小の見込み。
- ◆信用保証付き貸出における条件変更D.I.は、2012年度下期以降、7期連続でマイナス。次期は、横ばいの見込み。

(D.I.) 信用保証付貸出D.I.の推移 (点線は次期予測) (%)



(D.I.) 条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移 (点線は次期予測) (%)

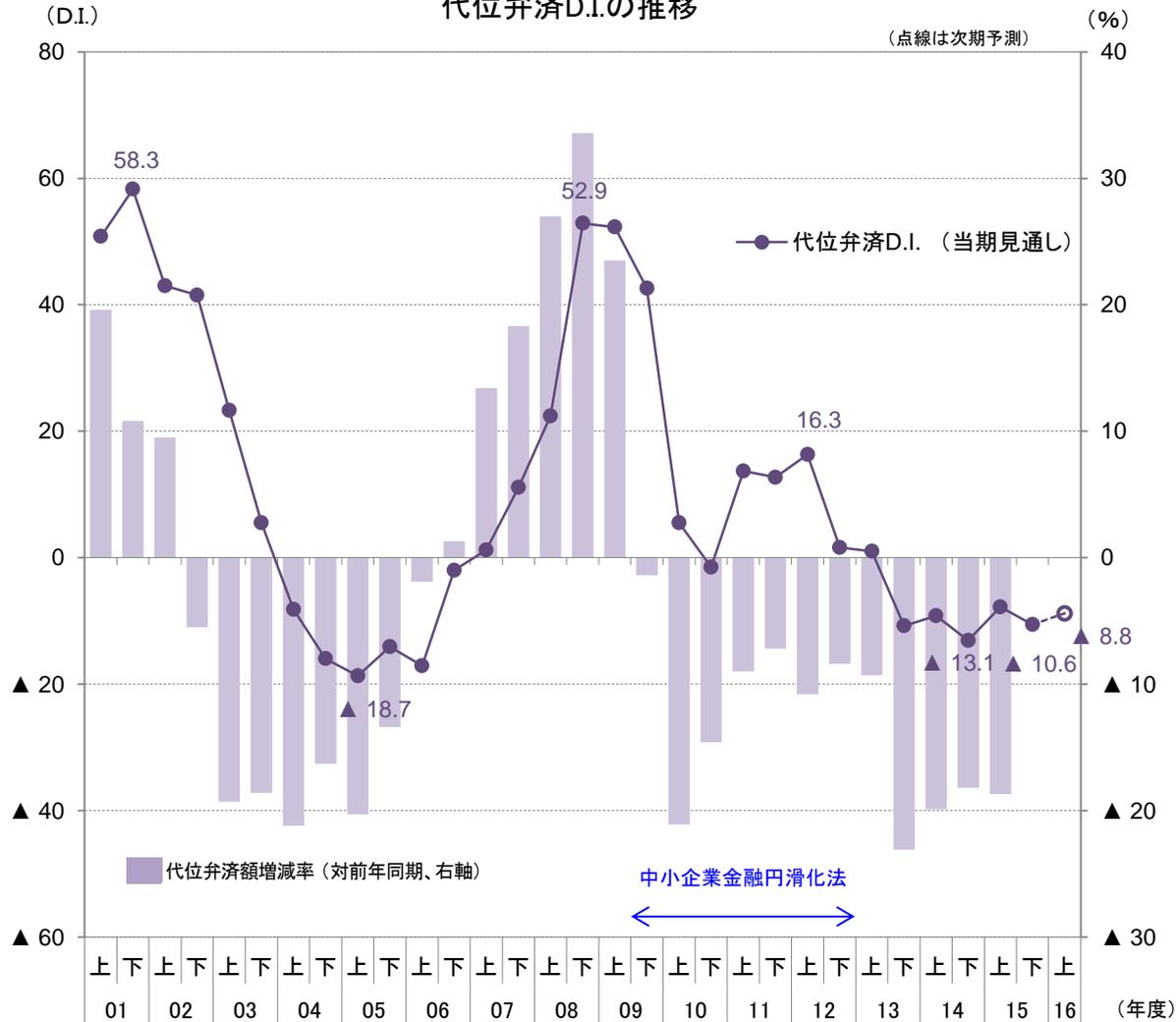


2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

2. 信用保証付貸出の動向について(つづき)

◆金融機関から信用保証協会への代位弁済D.I.は、2013年度下期以降、5期連続でマイナス。次期はマイナス幅がやや縮小の見込み。

代位弁済D.I.の推移

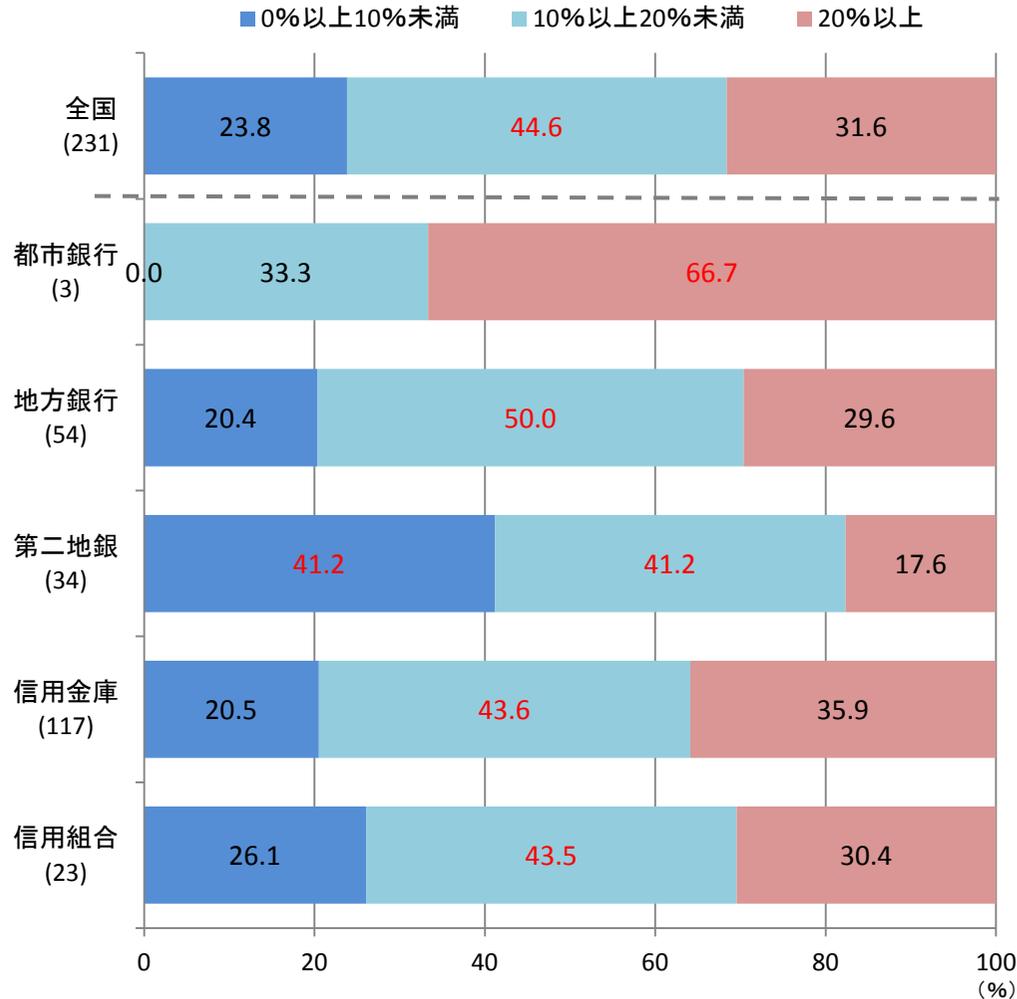


2007年度下期以前の調査については、サンプリング方法が現在と異なるため、時系列の比較には留意が必要である。

2012年度上期以前の調査に係るD.I.の算出については、「増加」と回答した金融機関の割合から「減少」と回答した金融機関の割合を引いて算出しているため、時系列の比較には留意が必要である。

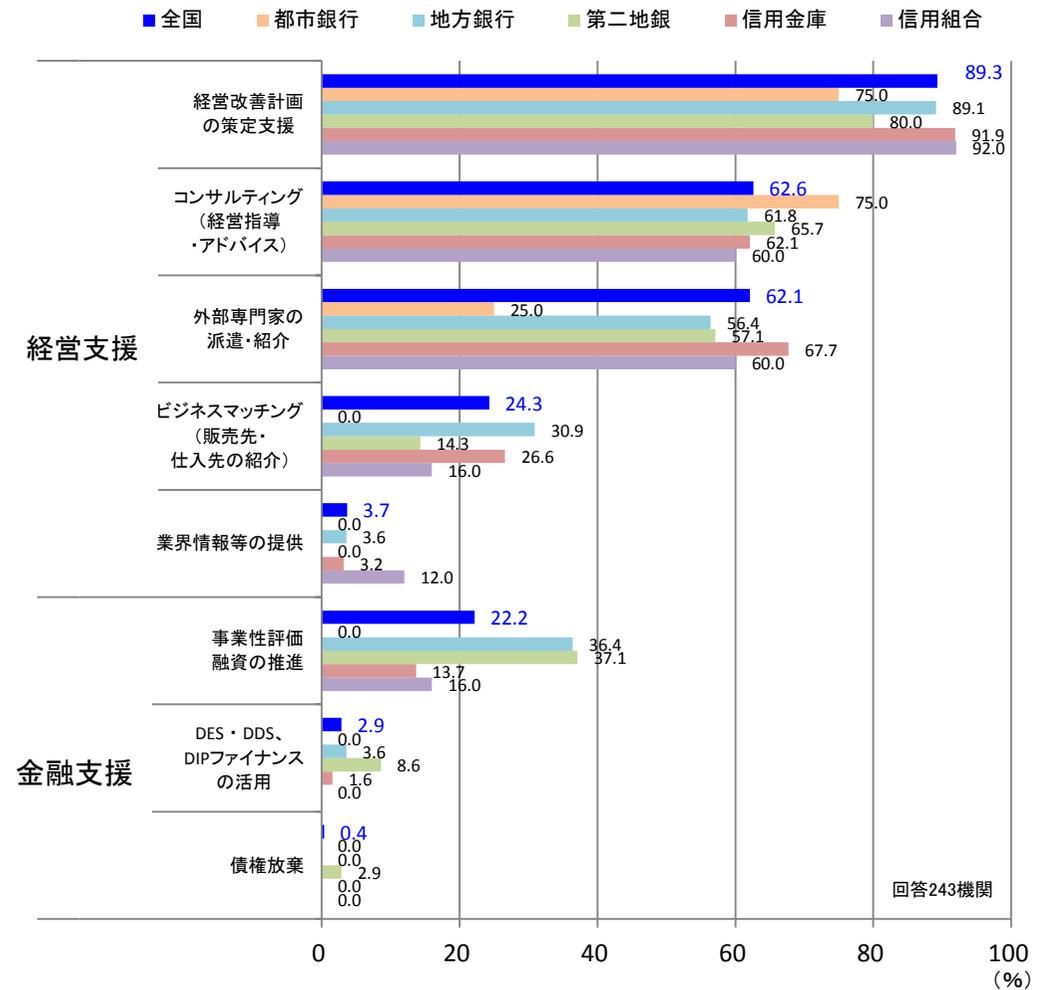
- ◆「条件変更企業の割合」及び「条件変更企業へ積極的に取り組んでいる支援策」について
- ・中小企業の貸出先のうち条件変更企業の割合は「10%以上20%未満」が最多となっている。
- ・条件変更企業への支援策については、「経営改善計画の策定支援」が最多、次いで「コンサルティング(経営指導・アドバイス)」の順となっている。
- 経営支援以外の金融支援では、「事業性評価融資の推進」が最多。

条件変更企業の割合(全貸出先[中小企業])



()内は回答金融機関数

条件変更企業へ積極的に取り組んでいる支援策



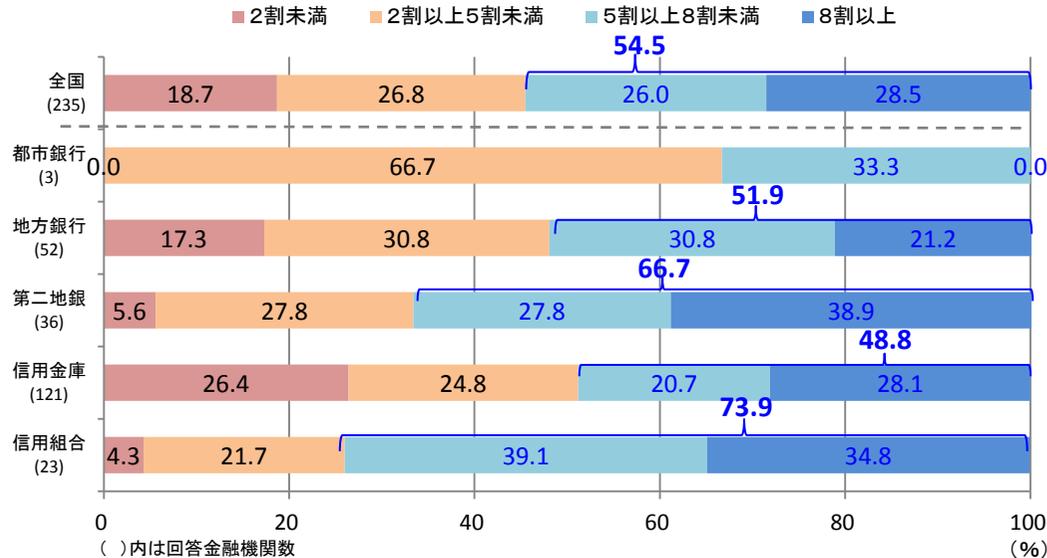
回答243機関

回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

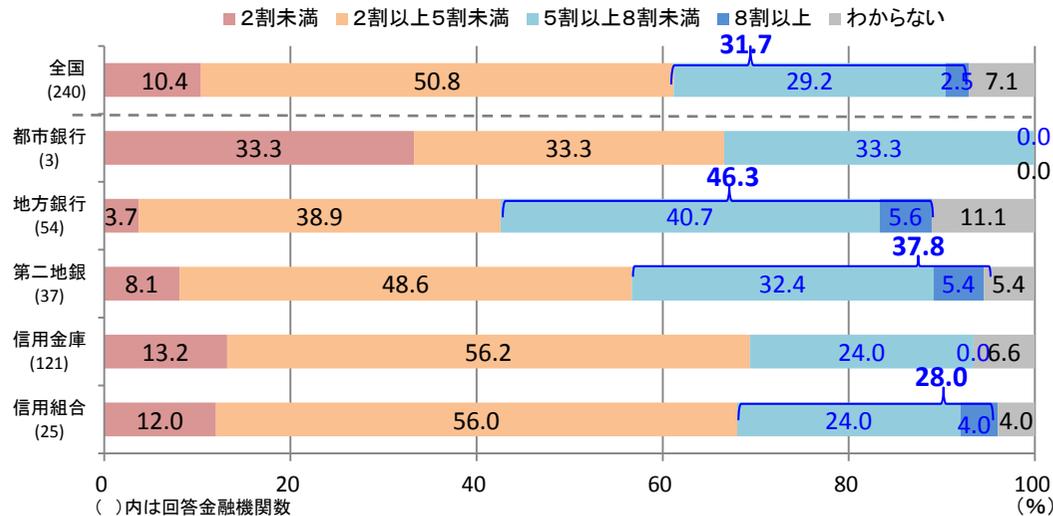
◆「条件変更企業の経営改善計画書の提出割合」、「計画どおり進んでいる企業の割合」及び「経営改善計画書どおり進んでいない理由」について

- ・条件変更企業のうち、経営改善計画書を提出している企業の割合が5割以上と回答した金融機関の割合は5割超。
- ・一方で、経営改善計画書どおりに進んでいる企業の割合が5割以上と回答した金融機関は約3割にとどまっている。
- ・経営改善計画書どおり進んでいない理由は「コスト削減・効率化の効果が期待どおりでなかった」が最多、次いで「アクションプランが明確ではなかった」、「経営者の意欲・理解が十分ではなかった」と続いている。

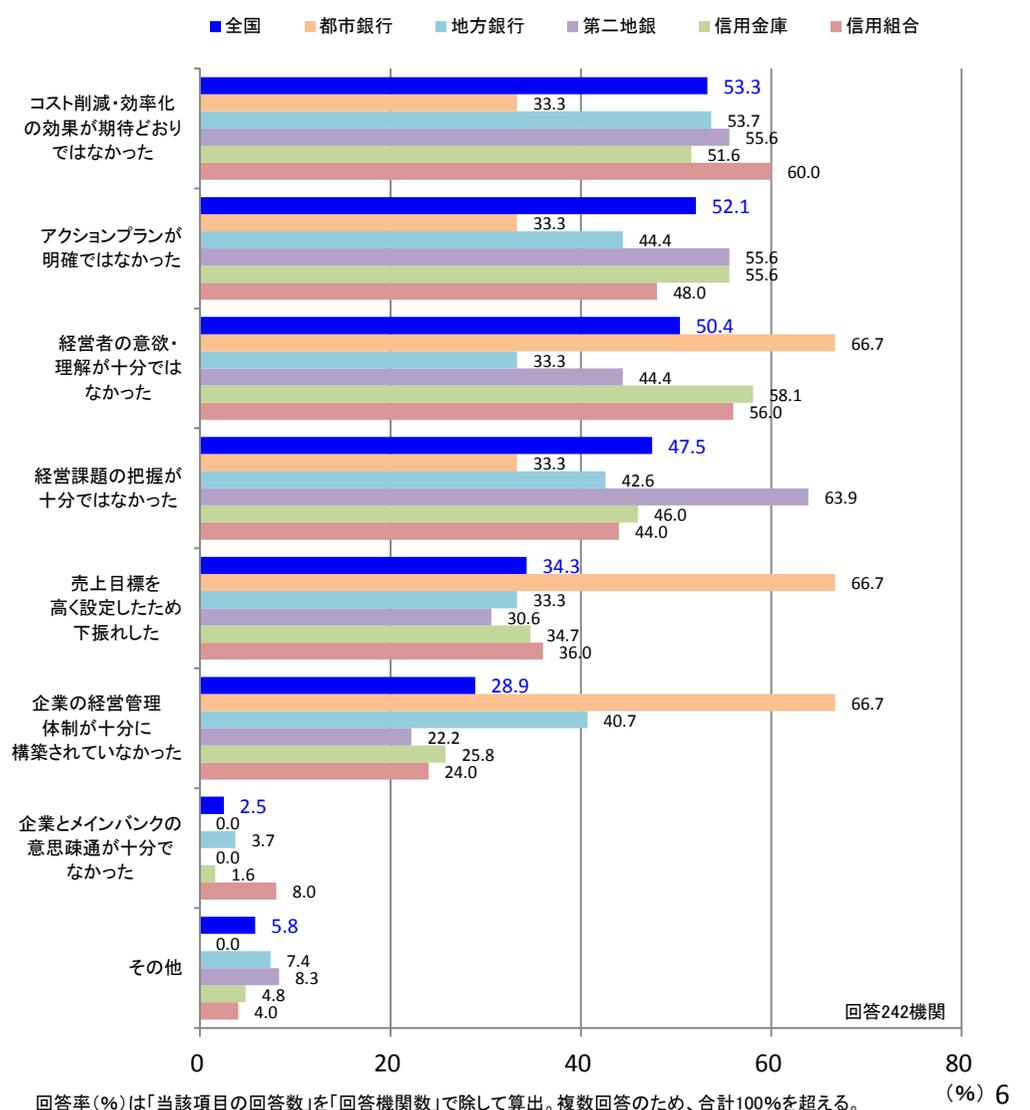
条件変更企業の経営改善計画書の提出割合



経営改善計画書が計画どおり進んでいる企業の割合



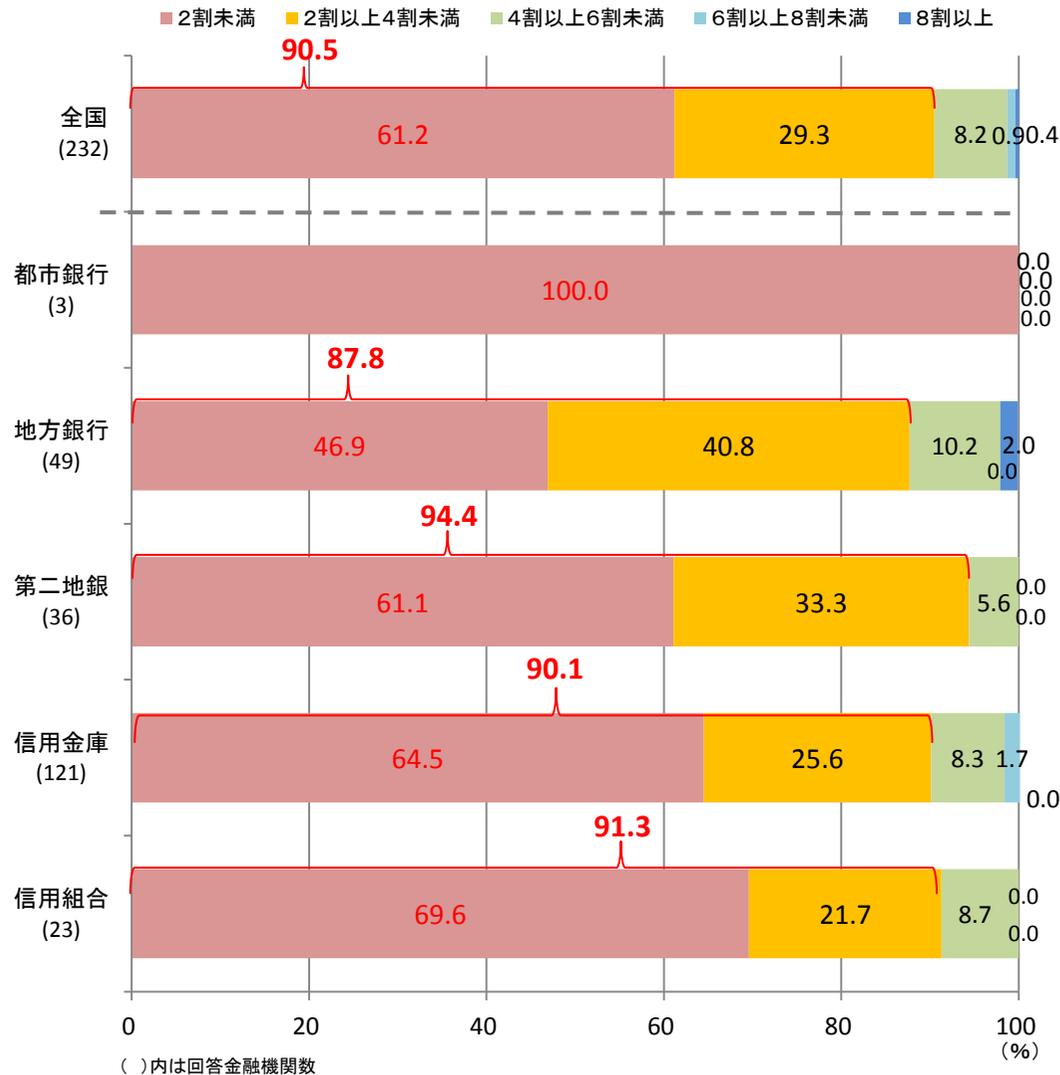
経営改善計画書どおり進んでいない理由



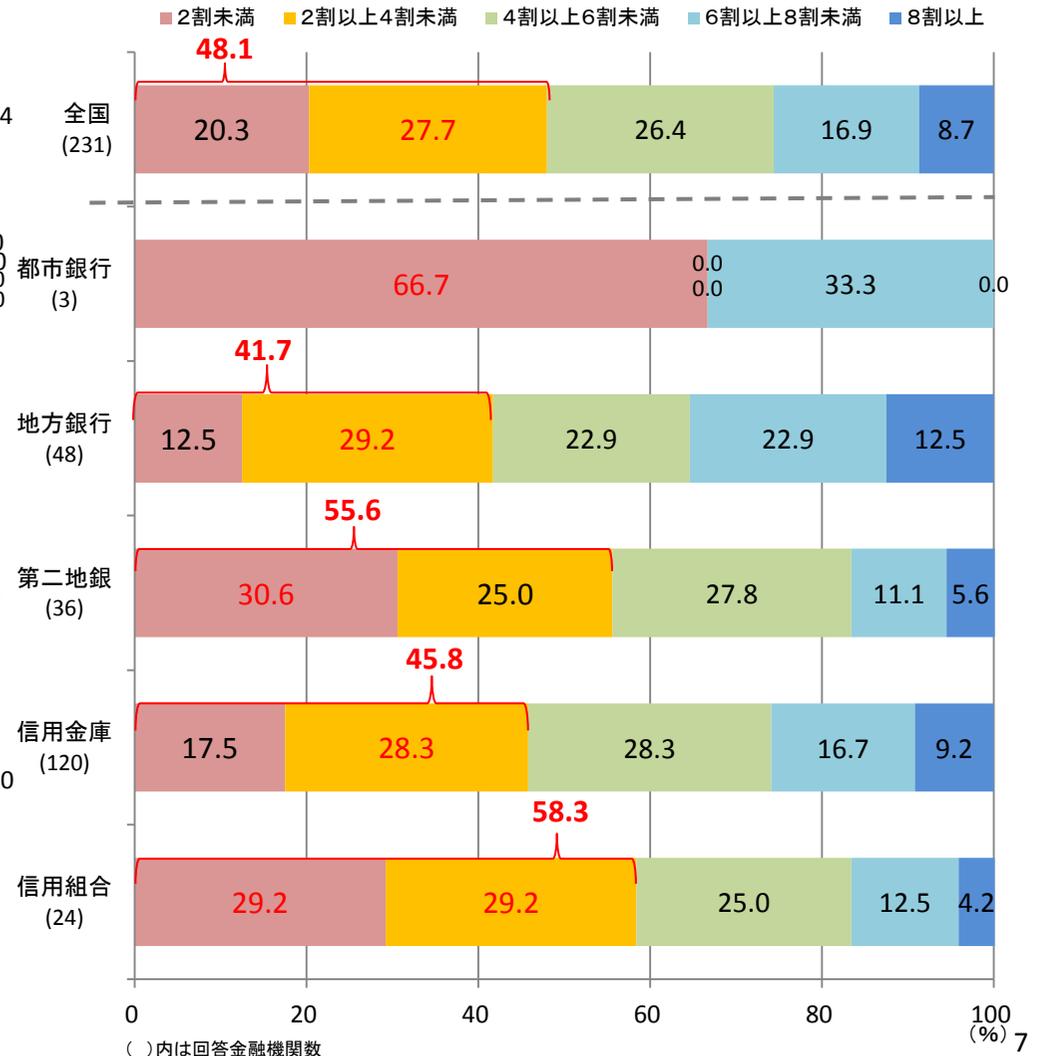
回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

- ◆条件変更企業のうち「解消・正常化の見通しが明確になっている企業の割合」及び「事業継続に期待が持てる企業の割合」について
- ・条件変更の解消・正常化の見通しが明確になっている企業の割合は、4割未満と回答した金融機関は9割にのぼる。
- ・条件変更の解消・正常化の見通しはないが事業継続に期待が持てる企業の割合については、4割未満と回答した金融機関が約5割。

条件変更の解消・正常化の見通しが明確な企業の割合



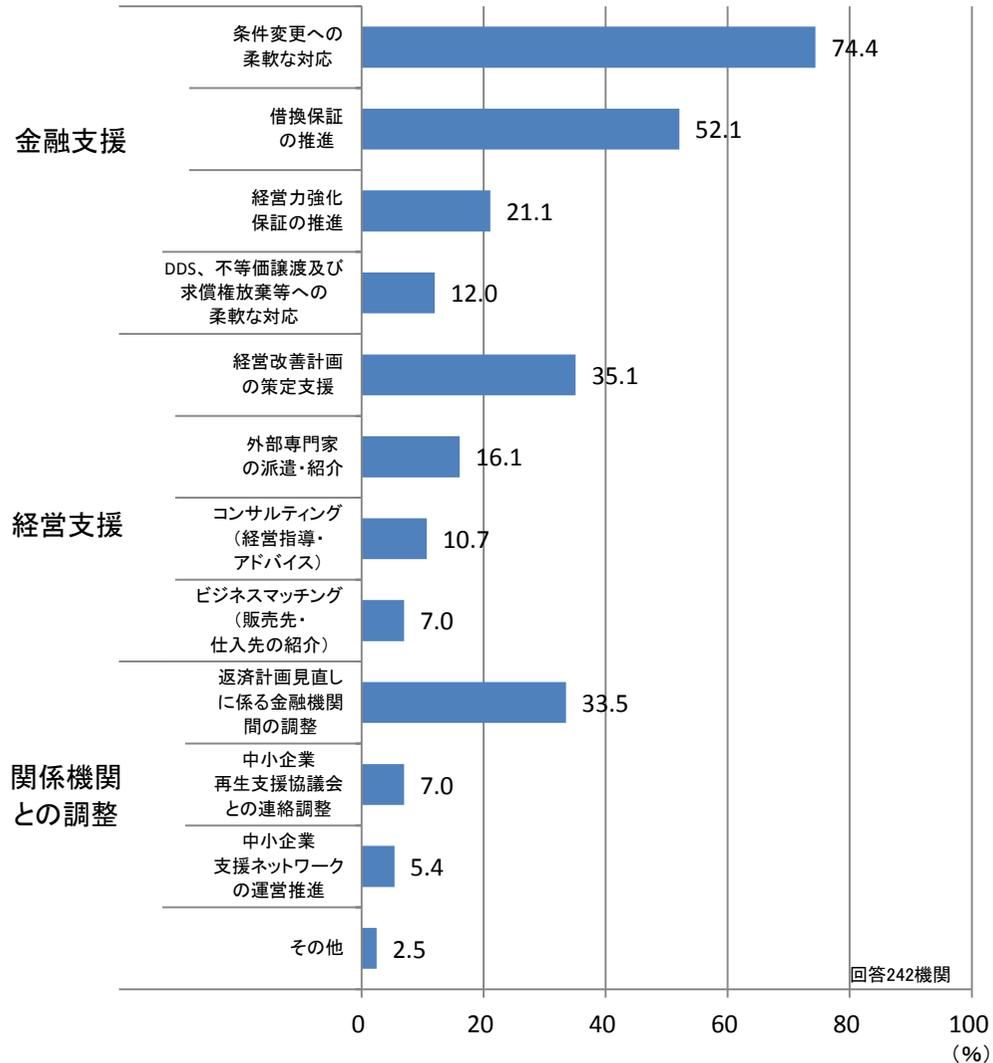
条件変更の解消・正常化の見通しはないが、事業継続に期待が持てる企業の割合



◆「保証協会に期待する条件変更企業への支援」について

- ・保証協会に期待する条件変更企業への支援は、「条件変更への柔軟な対応」が最多、次いで「借換保証の推進」が続いており、金融支援に関する期待が大きい。経営支援では「経営改善計画の策定支援」、関係機関との調整では「返済計画見直しに係る金融機関間の調整」への期待が大きい。

保証協会に期待する条件変更企業への支援



回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

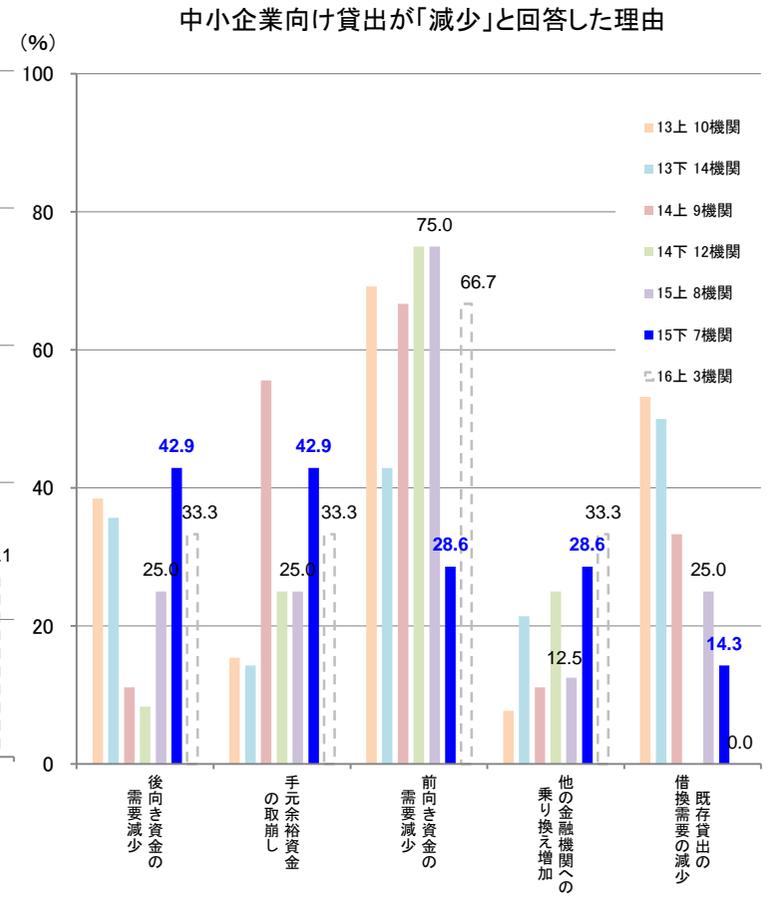
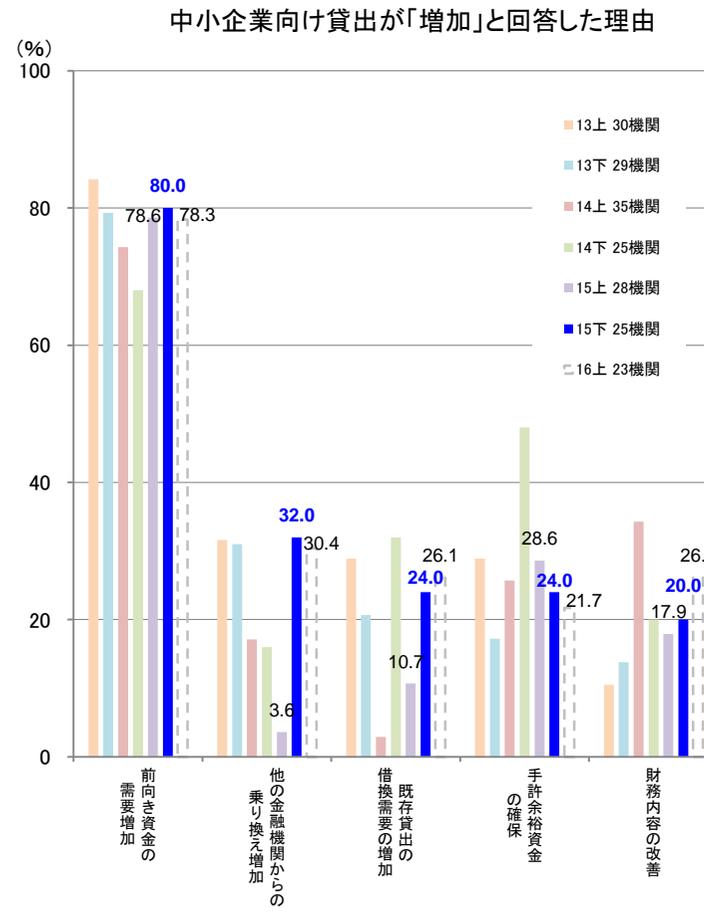
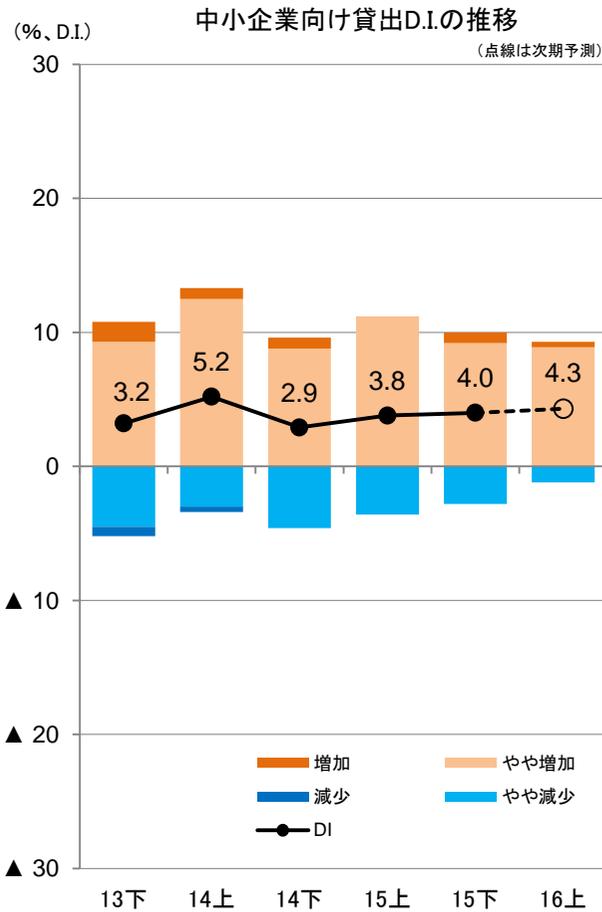
1. 中小企業向け貸出の動向について

2015年度下期において中小企業向け貸出が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・2013年度上期以降、「前向き資金の需要増加」が6期連続で最多。また、「他の金融機関からの乗り換え増加」及び「既存貸出の借換需要の増加」が前期に比べて大幅に増加。

【減少理由】・「後向き資金の需要減少」及び「手元余裕資金の取崩し」が最多(7機関のうち、3機関が回答)。

● 中小企業向け貸出D.I.の推移及び増減理由



回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

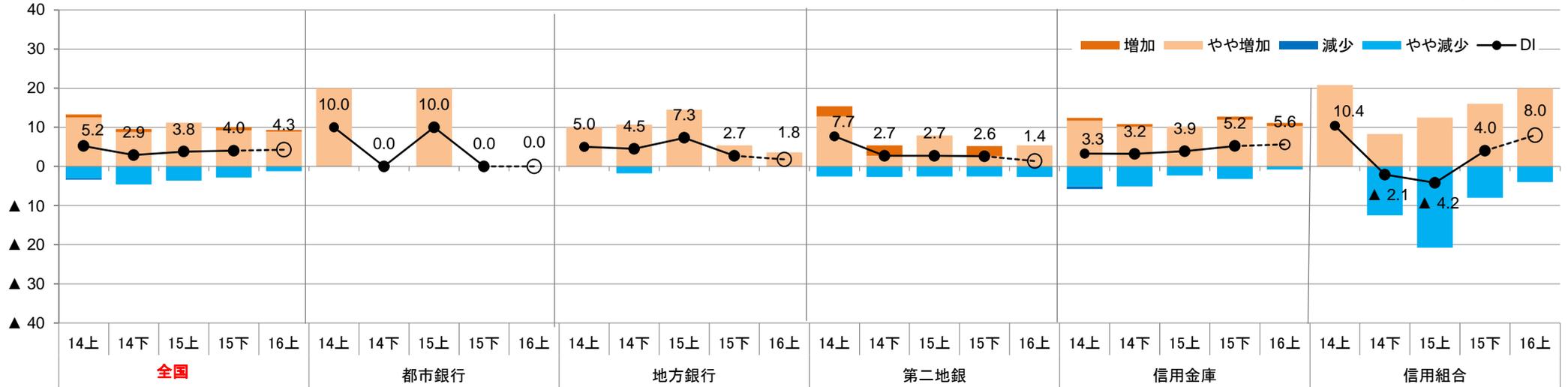
定例調査

1. 中小企業向け貸出の動向について(つづき)

●中小企業向け貸出D.I.の推移(金融機関業態別)

(%, D.I.)

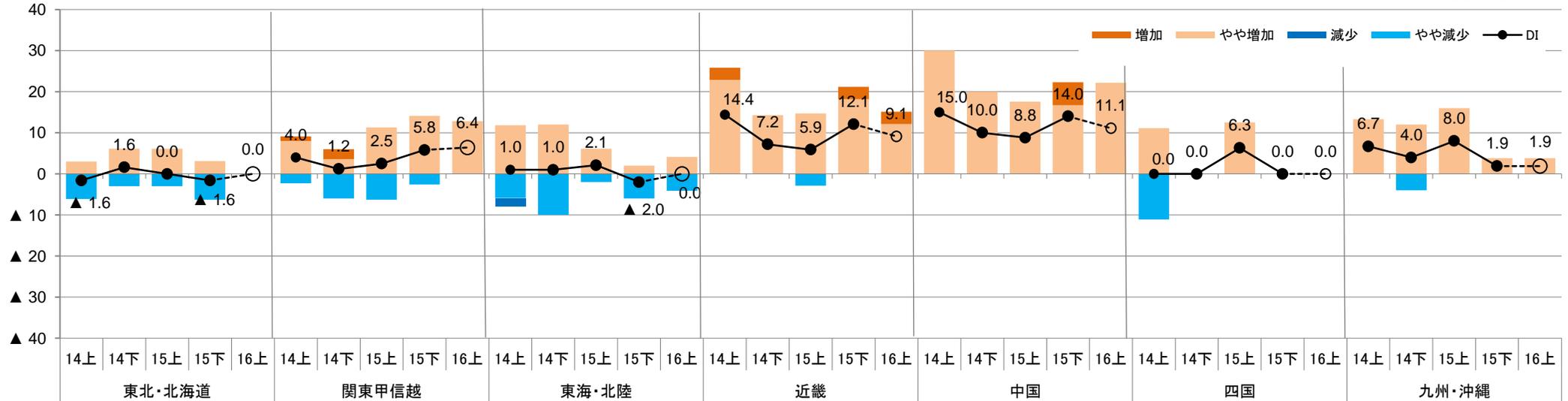
(点線は次期予測)



●中小企業向け貸出D.I.の推移(地域別)

(%, D.I.)

(点線は次期予測)

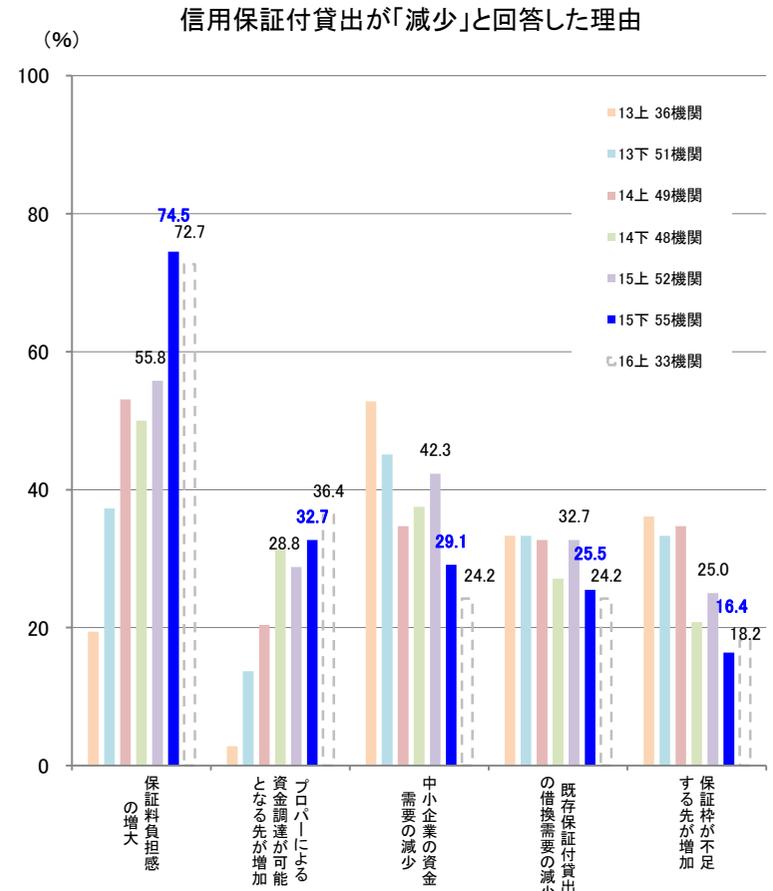
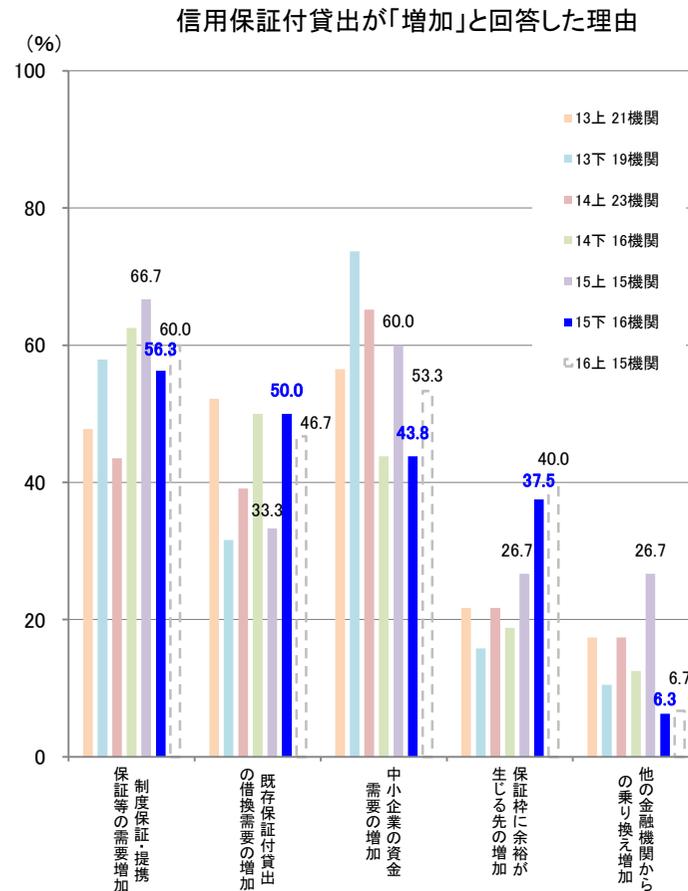
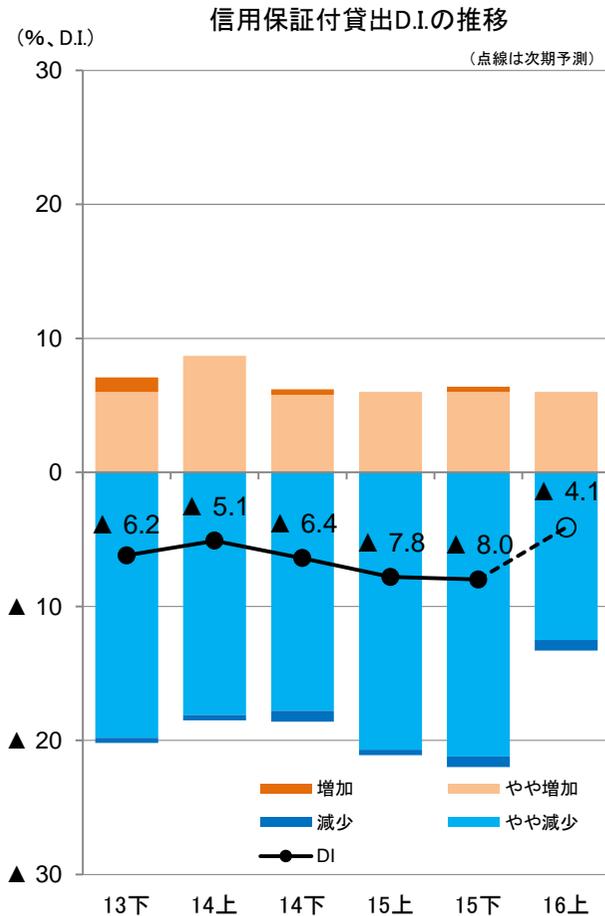


2. 信用保証付貸出の動向について

2015年度下期における信用保証付貸出が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・「制度保証・提携保証等の需要増加」が最多(16機関のうち、9機関が回答)。
 次いで、「既存保証付貸出の借換需要増加」が続き、前期に比べて大幅に増加している。
 【減少理由】・低金利下での保証料の割高感を反映し、2014年度上期以降、「保証料負担感の増大」が4期連続で最多。

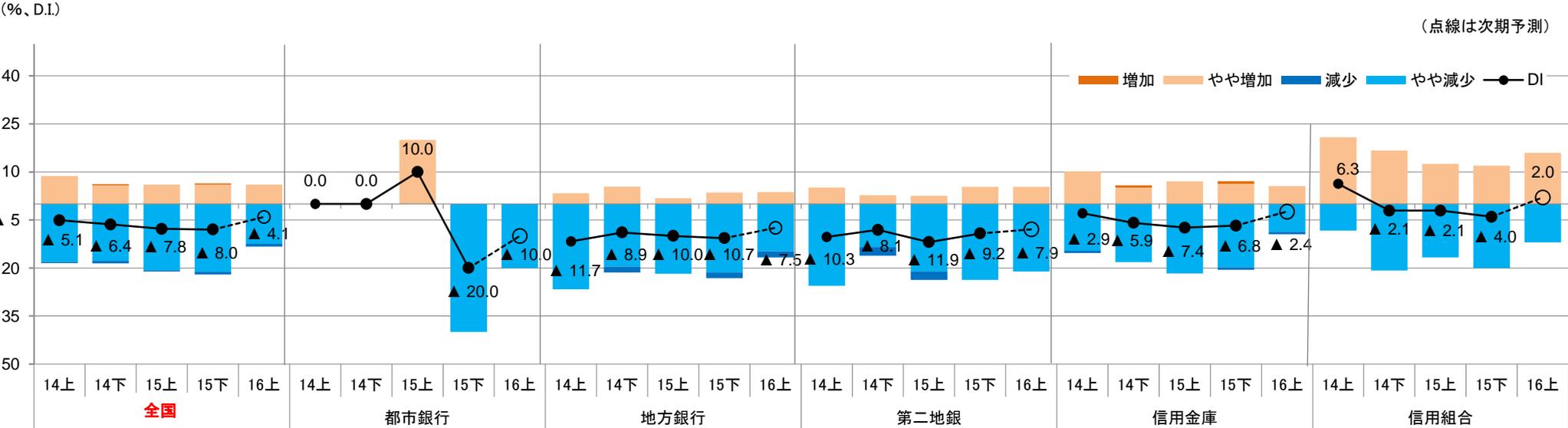
● 信用保証付貸出D.I.の推移及び増減理由



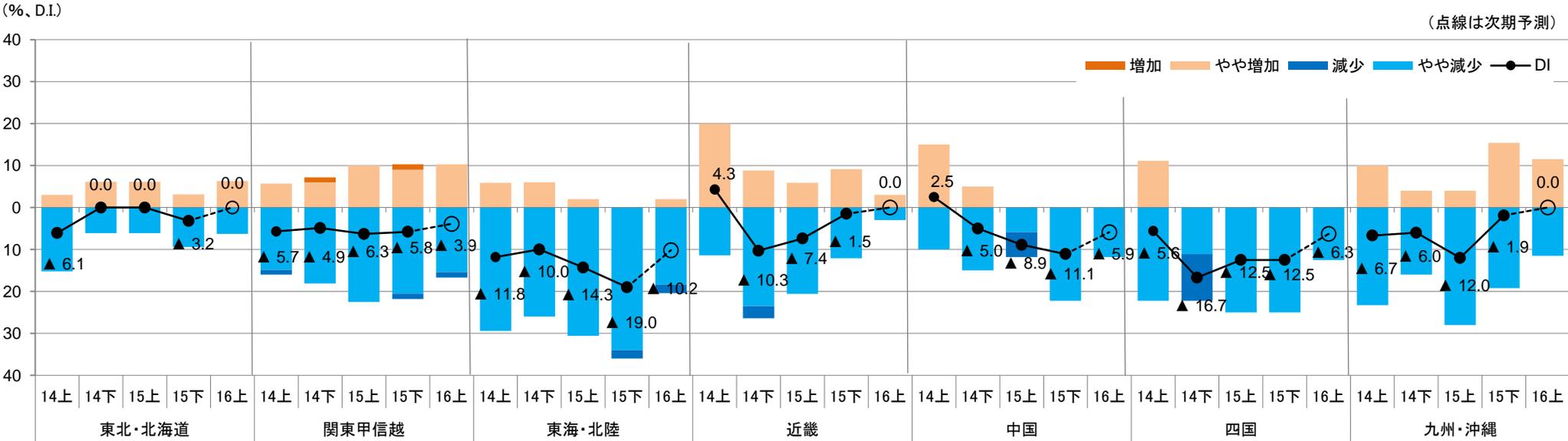
回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

2. 信用保証付貸出の動向について(つづき)

●信用保証付貸出D.I.の推移(金融機関業態別)



●信用保証付貸出D.I.の推移(地域別)



定例調査

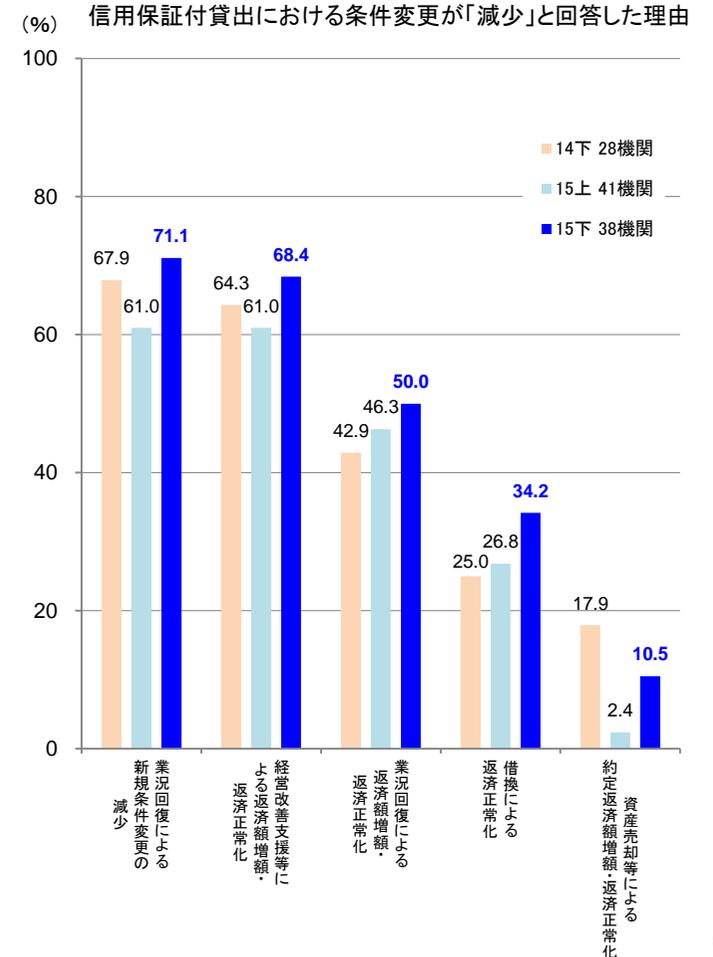
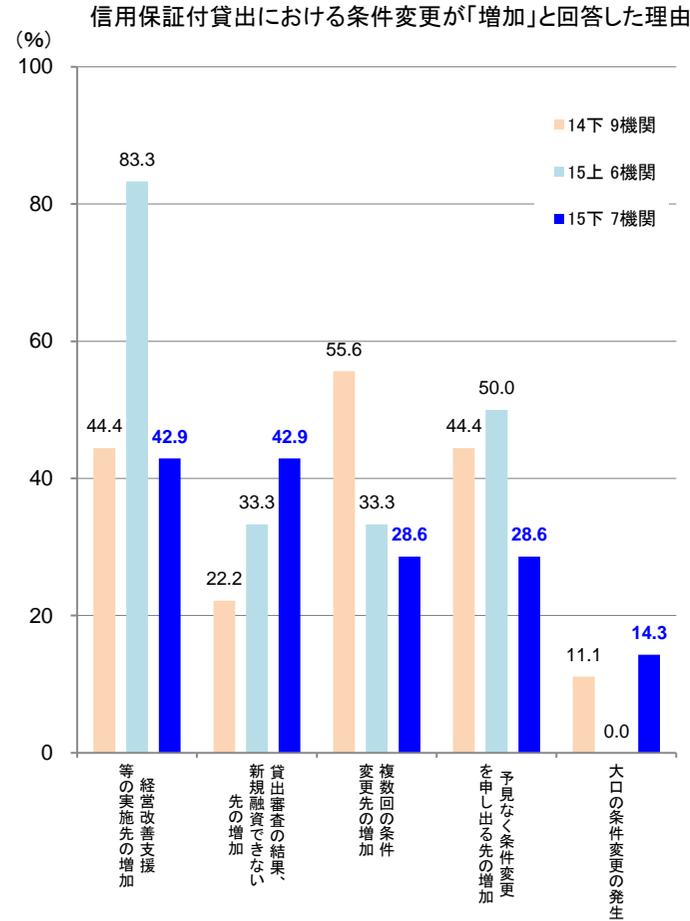
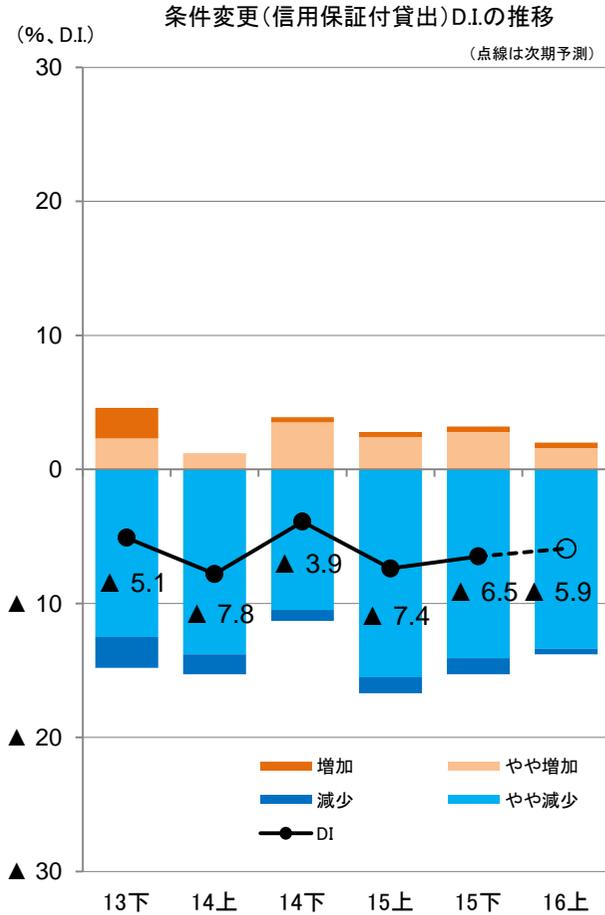
3. 信用保証付貸出における条件変更の動向について

2015年度下期における信用保証付貸出における条件変更が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・「経営改善支援等の実施先の増加」及び「貸出審査の結果、新規融資できない先の増加」が最多(7機関のうち、3機関が回答)。

【減少理由】・「業況回復による新規条件変更の減少」が3期連続で最多。

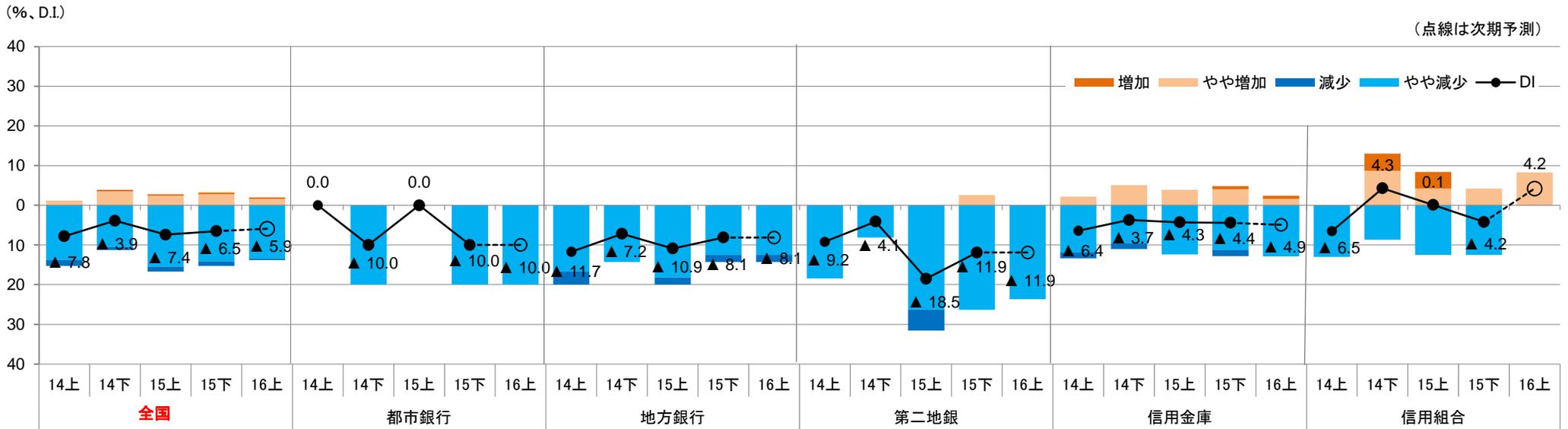
● 条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移及び増減理由



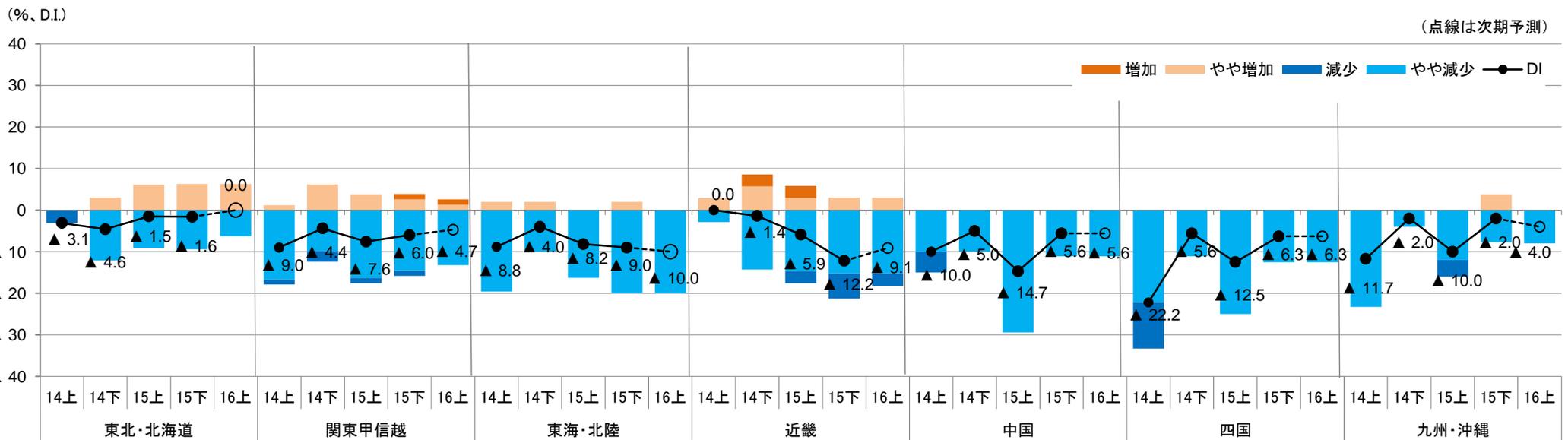
回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

3. 信用保証付貸出における条件変更の動向について(つづき)

●条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移(金融機関業態別)



●条件変更(信用保証付貸出)D.I.の推移(地域別)



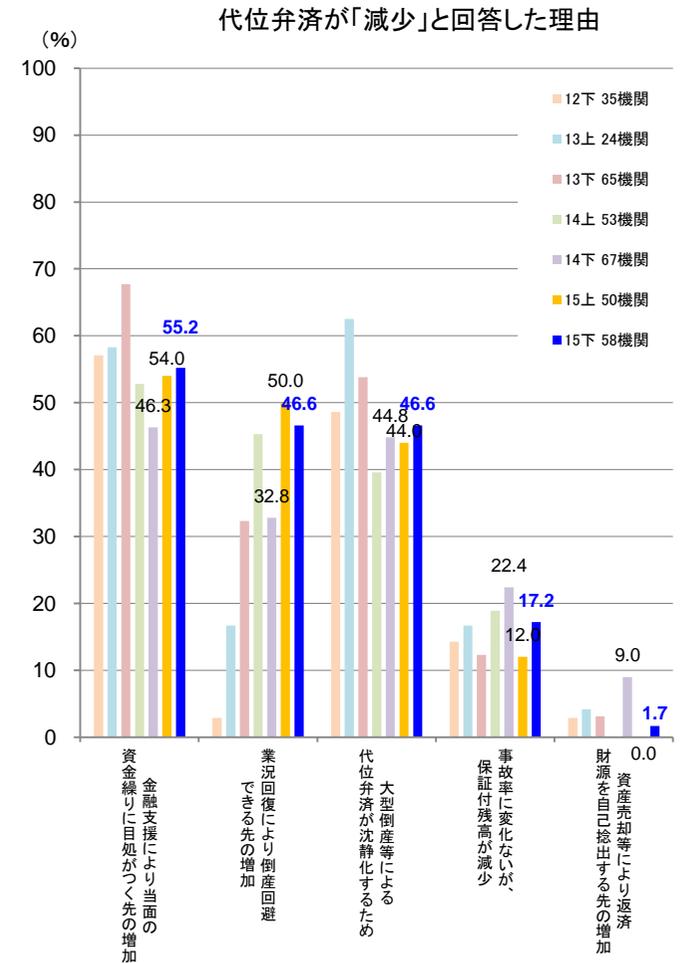
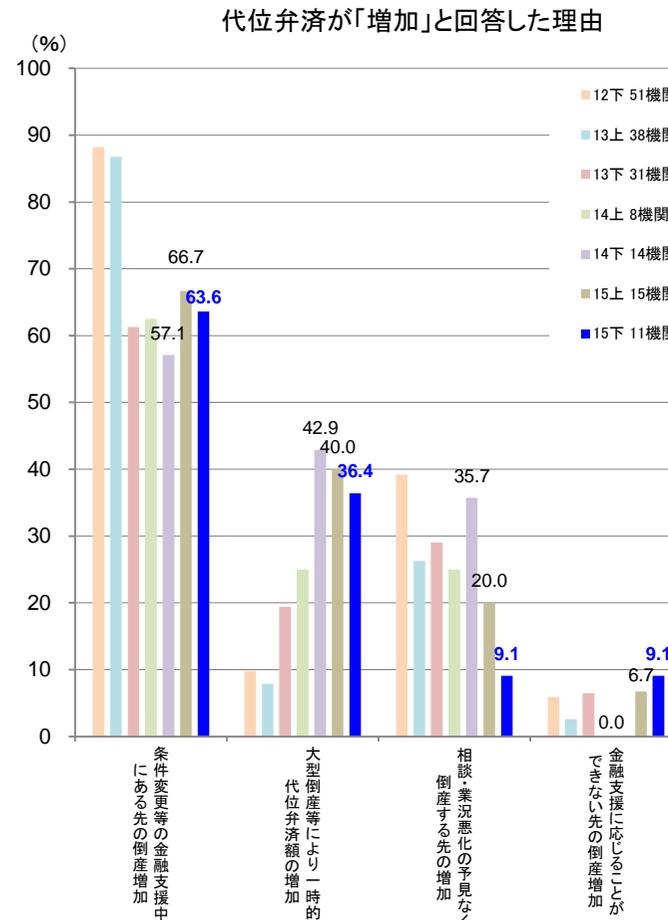
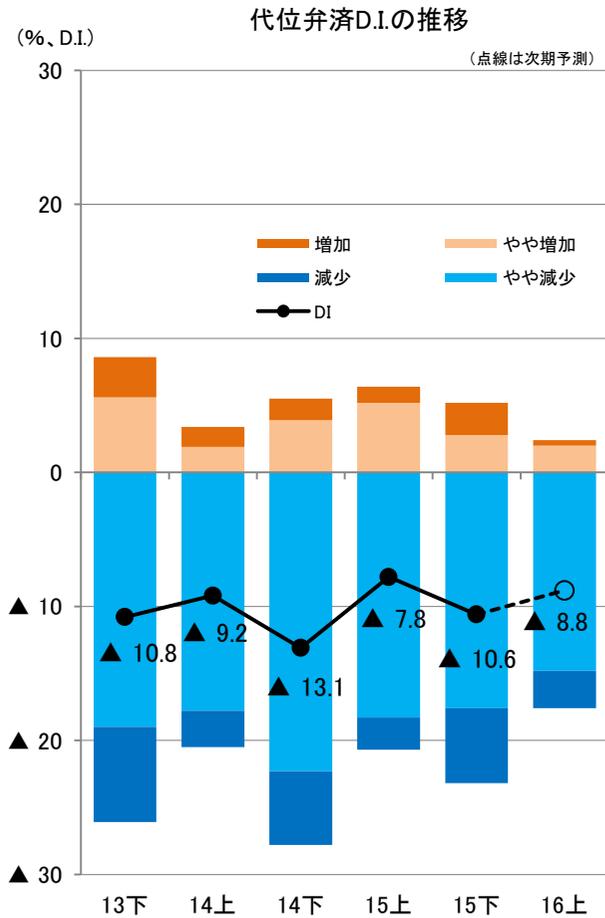
4. 金融機関から信用保証協会への代位弁済請求の動向について

2015年度下期における金融機関から信用保証協会への代位弁済請求が「増加」または「減少」と回答した金融機関に、その理由について尋ねた。

【増加理由】・「条件変更等の金融支援中にある先の倒産増加」が最多(11機関のうち、7機関が回答)。

【減少理由】・「金融支援により当面の資金繰りに目処がつく先の増加」が最多。次いで「業況回復により倒産回避できる先の増加」、「大型倒産等による代位弁済が沈静化するため」が続いている。

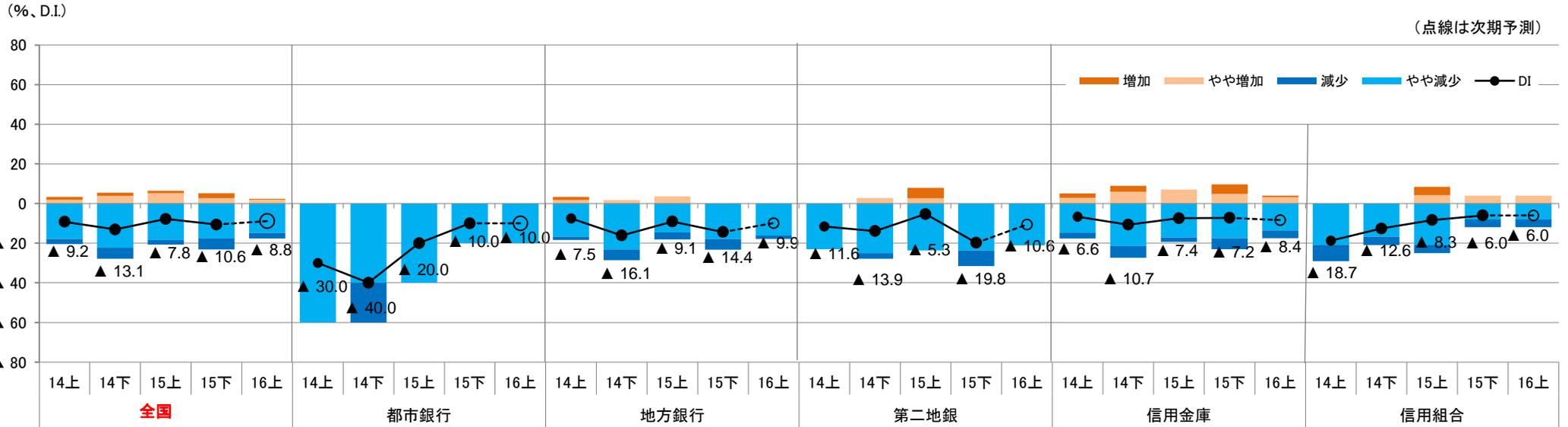
● 代位弁済D.I.の推移及び増減理由



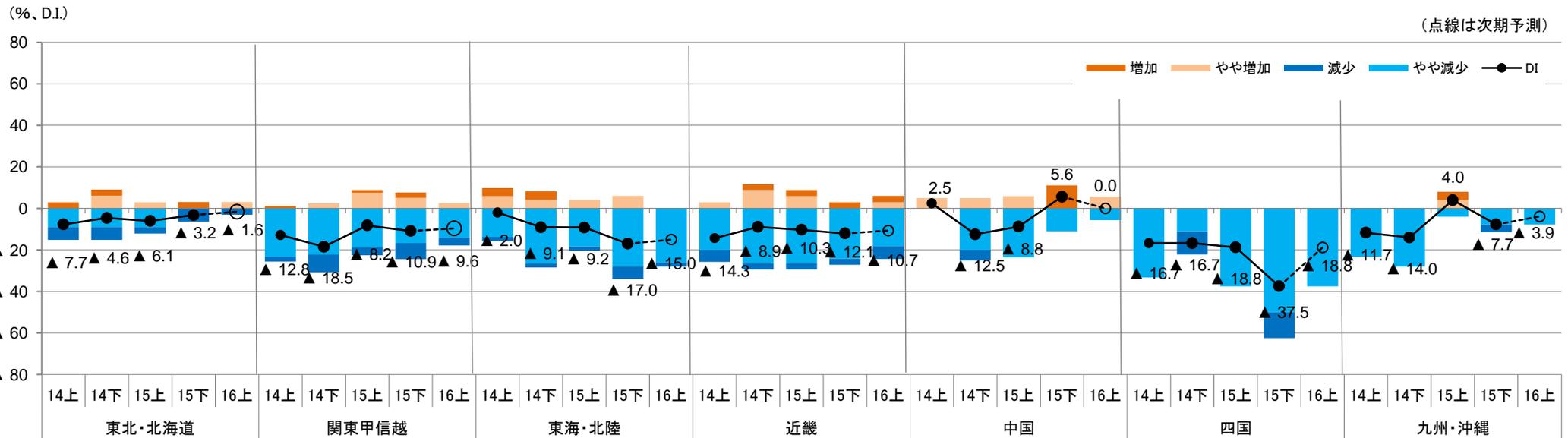
回答率(%)は、「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。

4. 金融機関から信用保証協会への代位弁済請求の動向について(つづき)

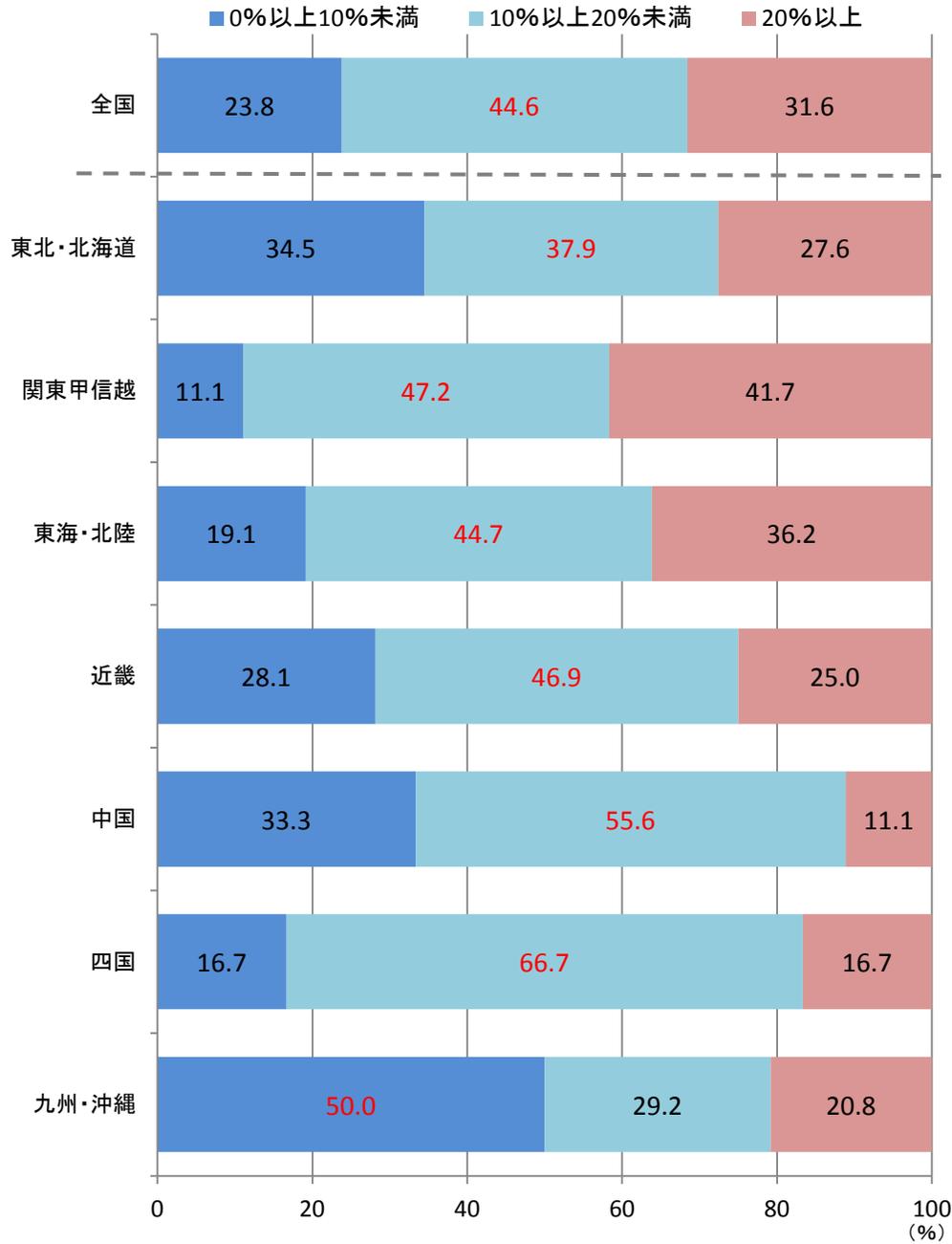
●代位弁済D.I.の推移(金融機関業態別)



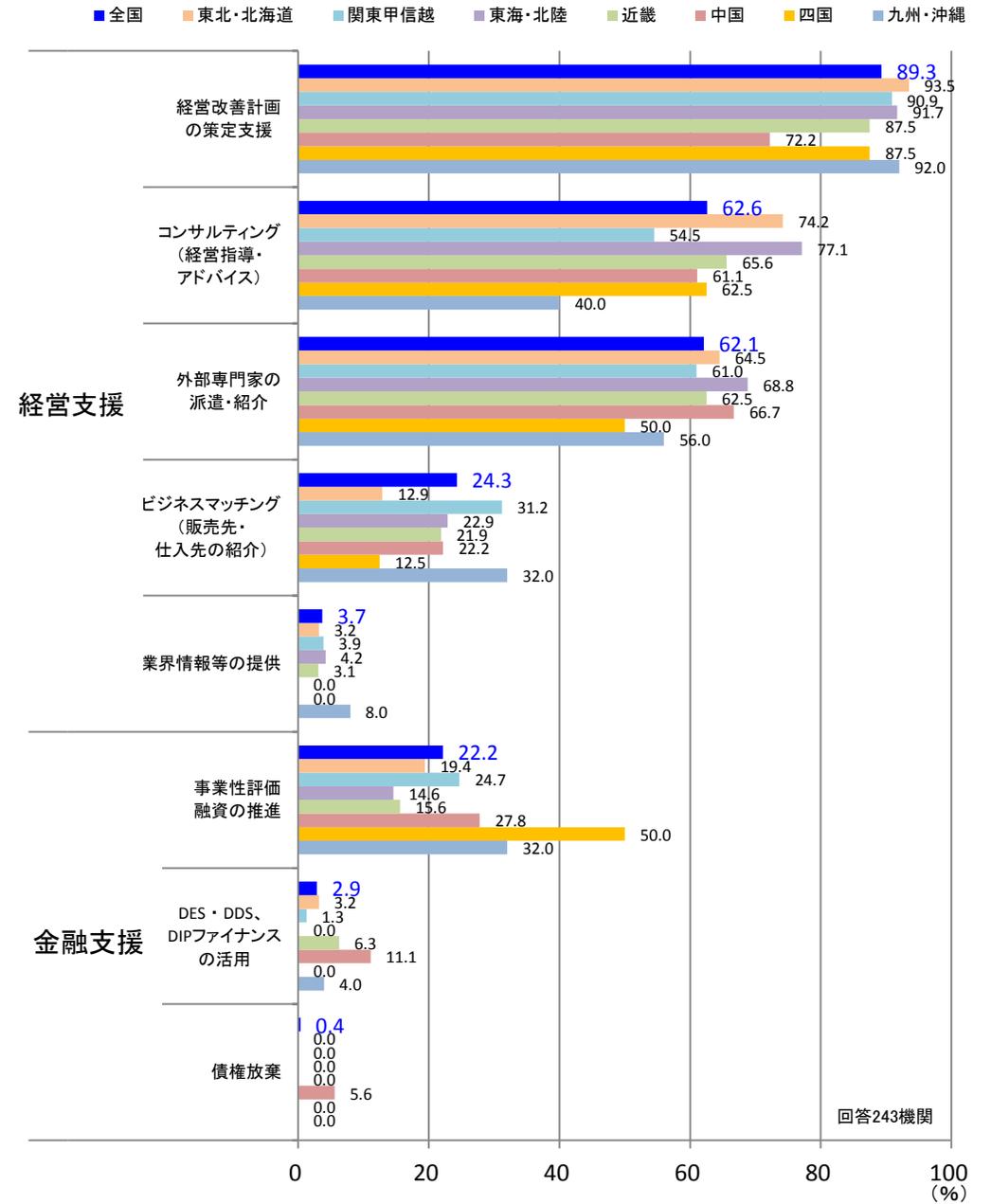
●代位弁済D.I.の推移(地域別)



条件変更企業の割合(全貸出先[中小企業])



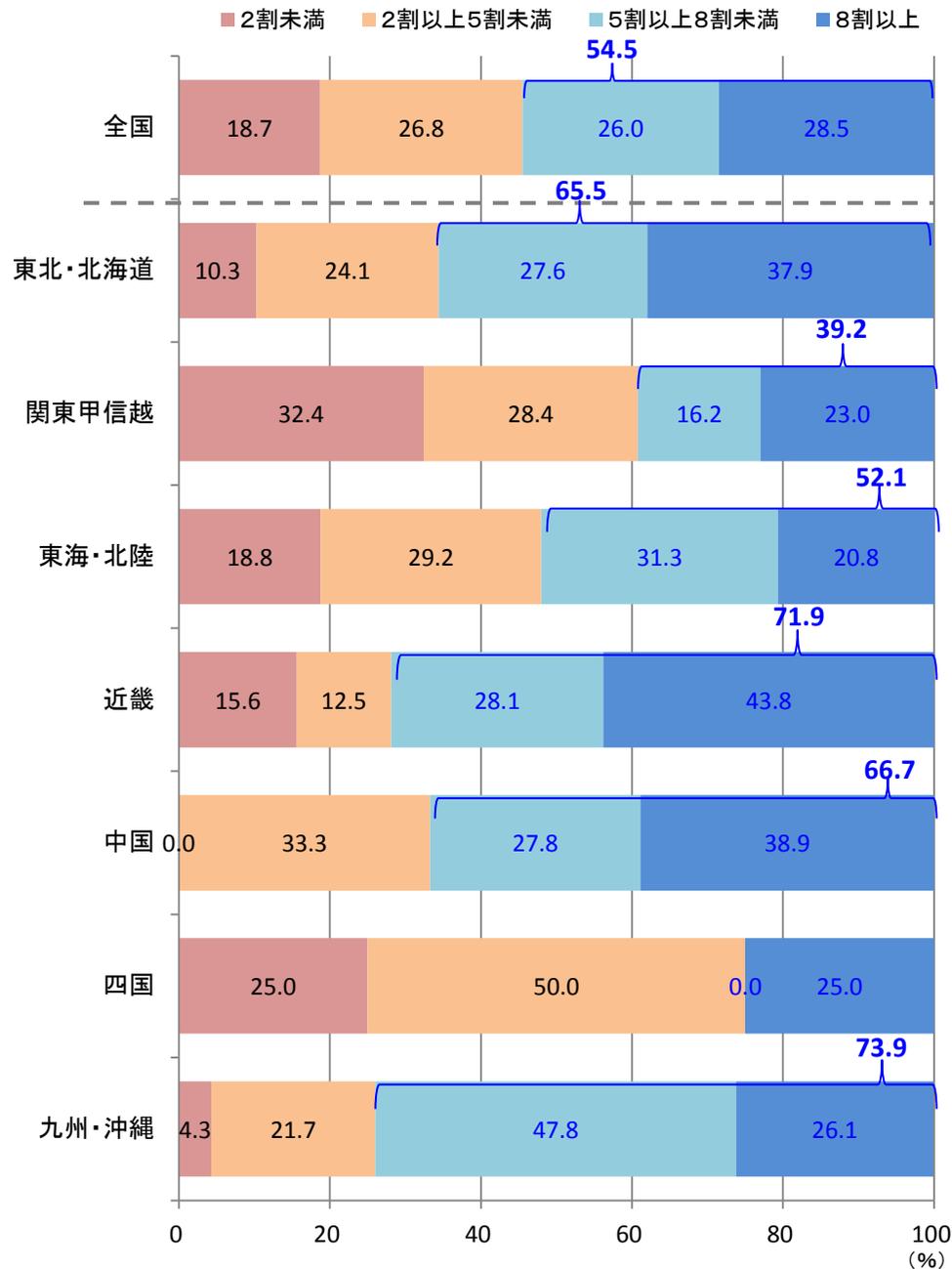
条件変更企業へ積極的に取り組んでいる支援策(地域別)



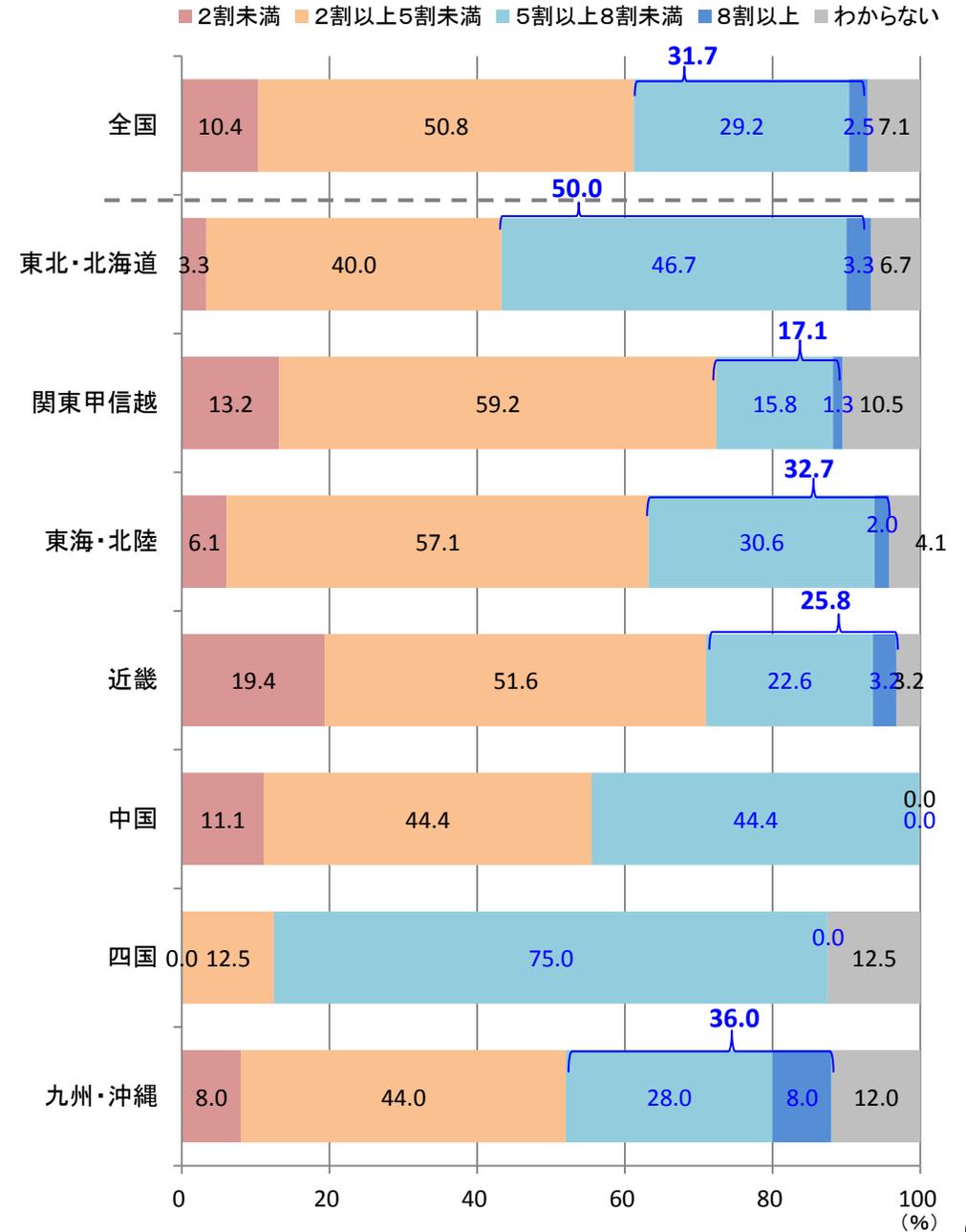
回答243機関

回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

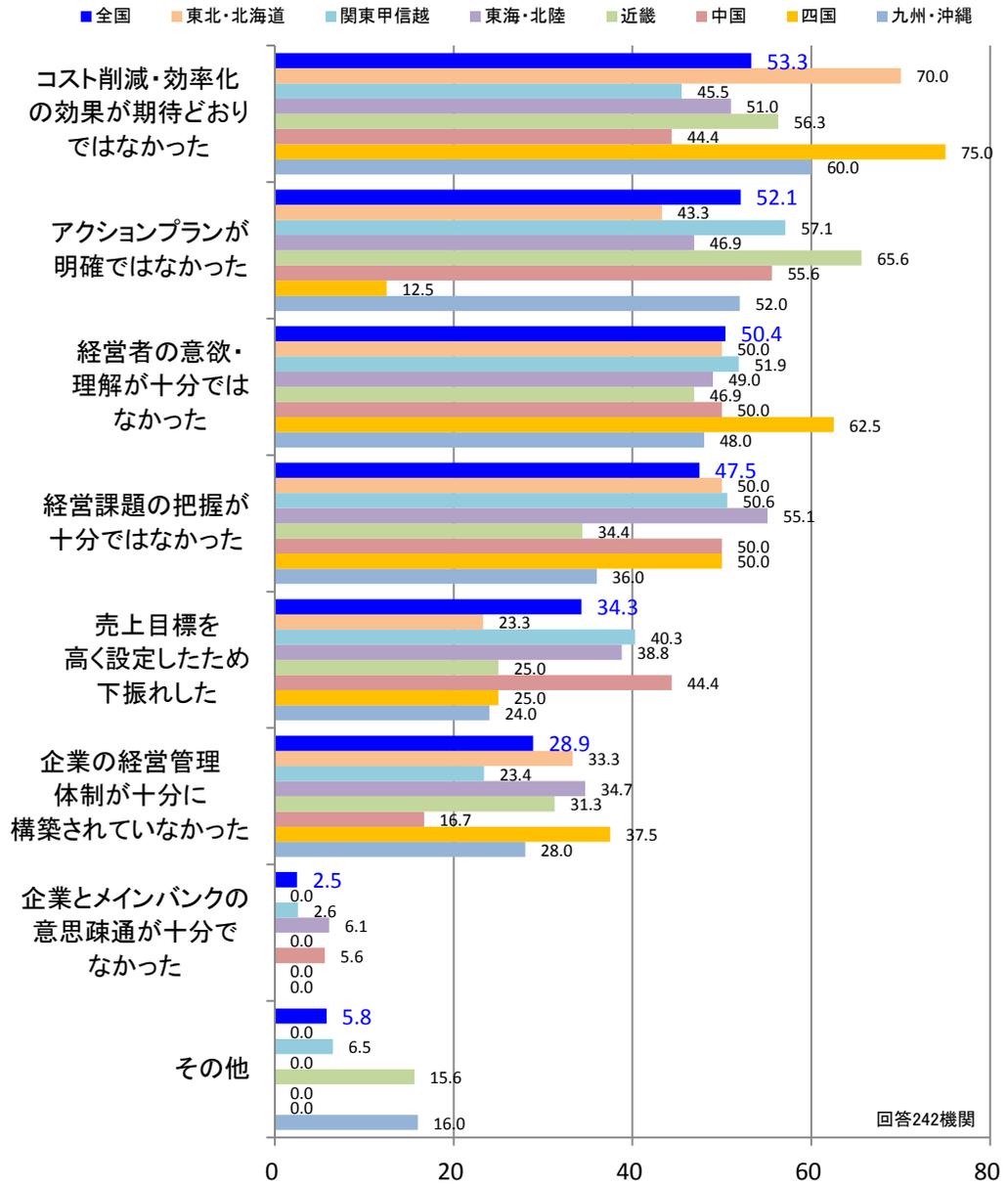
条件変更企業の経営改善計画書の提出割合
(地域別)



経営改善計画書が計画どおりに進んでいる企業の割合
(地域別)



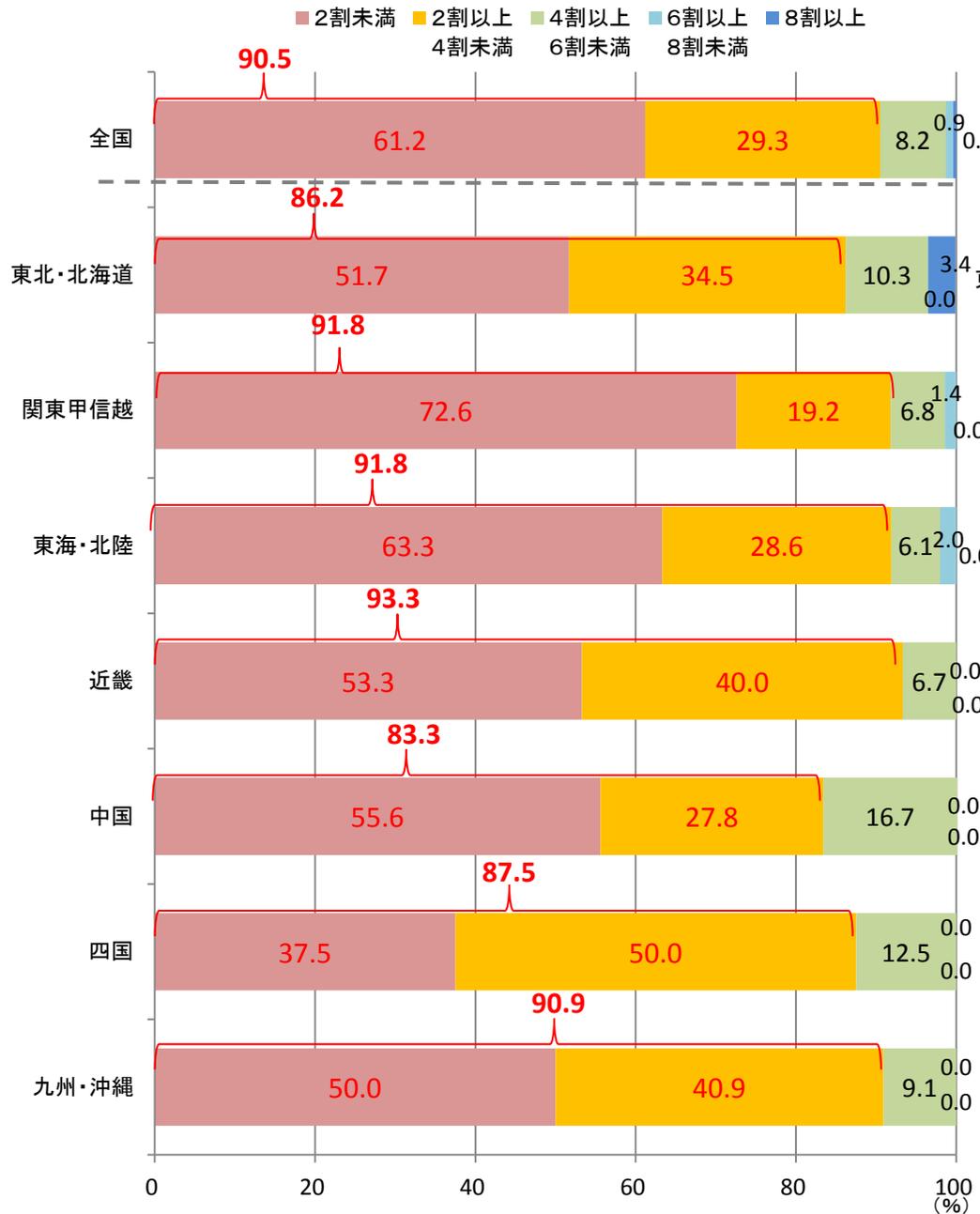
経営改善計画書どおり進んでいない理由
(地域別)



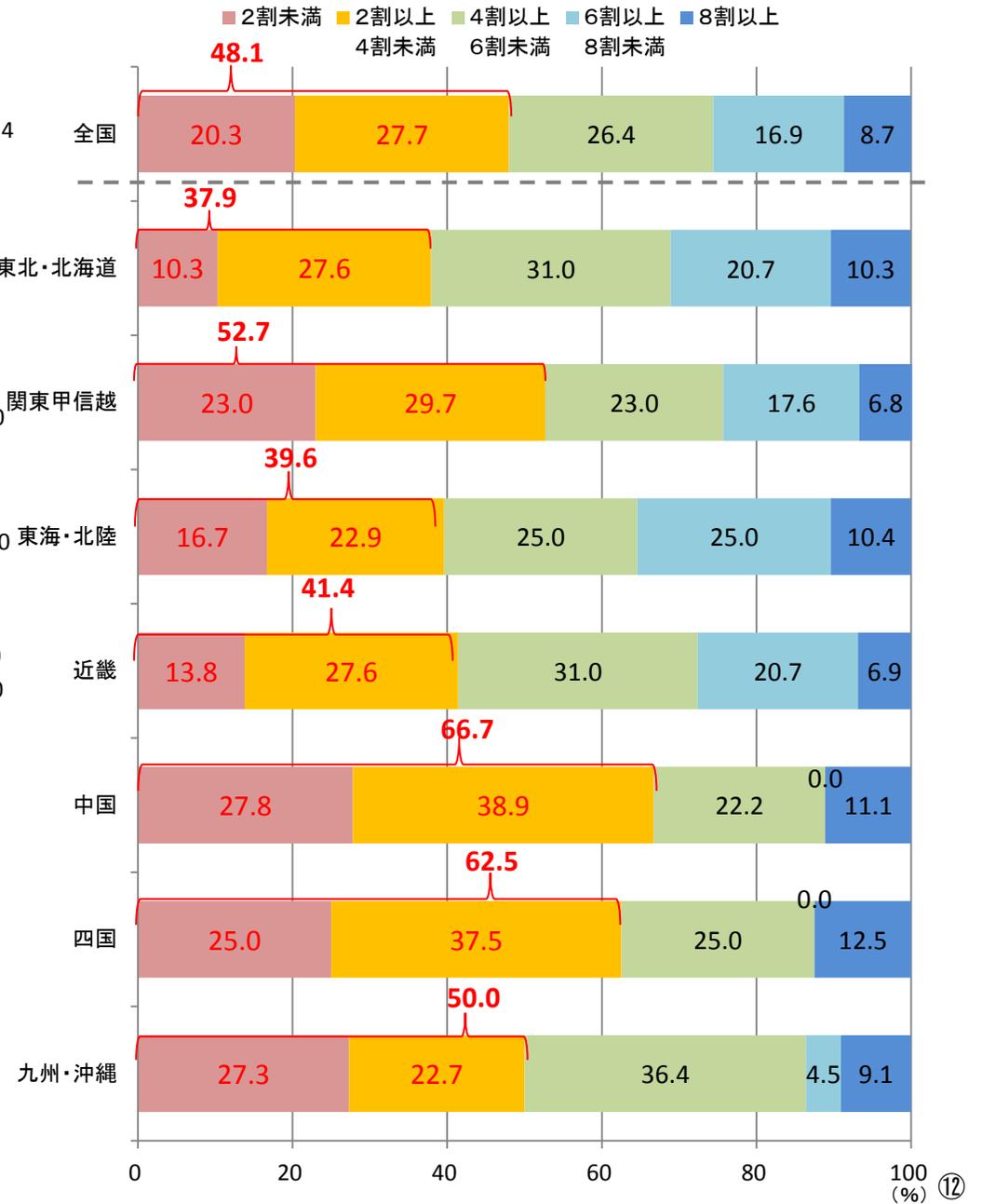
回答242機関

回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。(%)

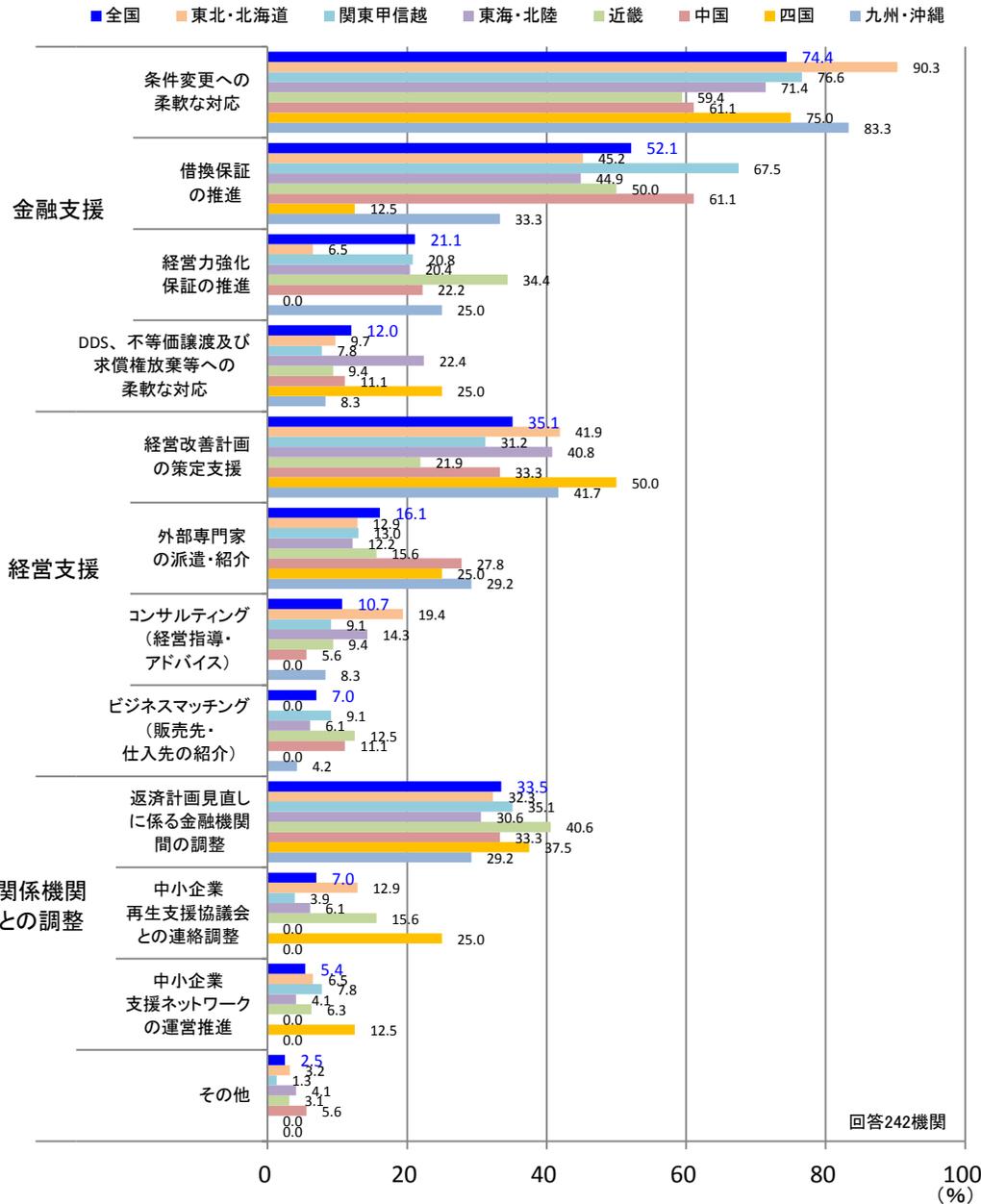
条件変更の解消・正常化の見通しが明確な企業の割合
(地域別)



条件変更の解消・正常化の見通しはないが、
事業継続に期待が持てる企業の割合
(地域別)

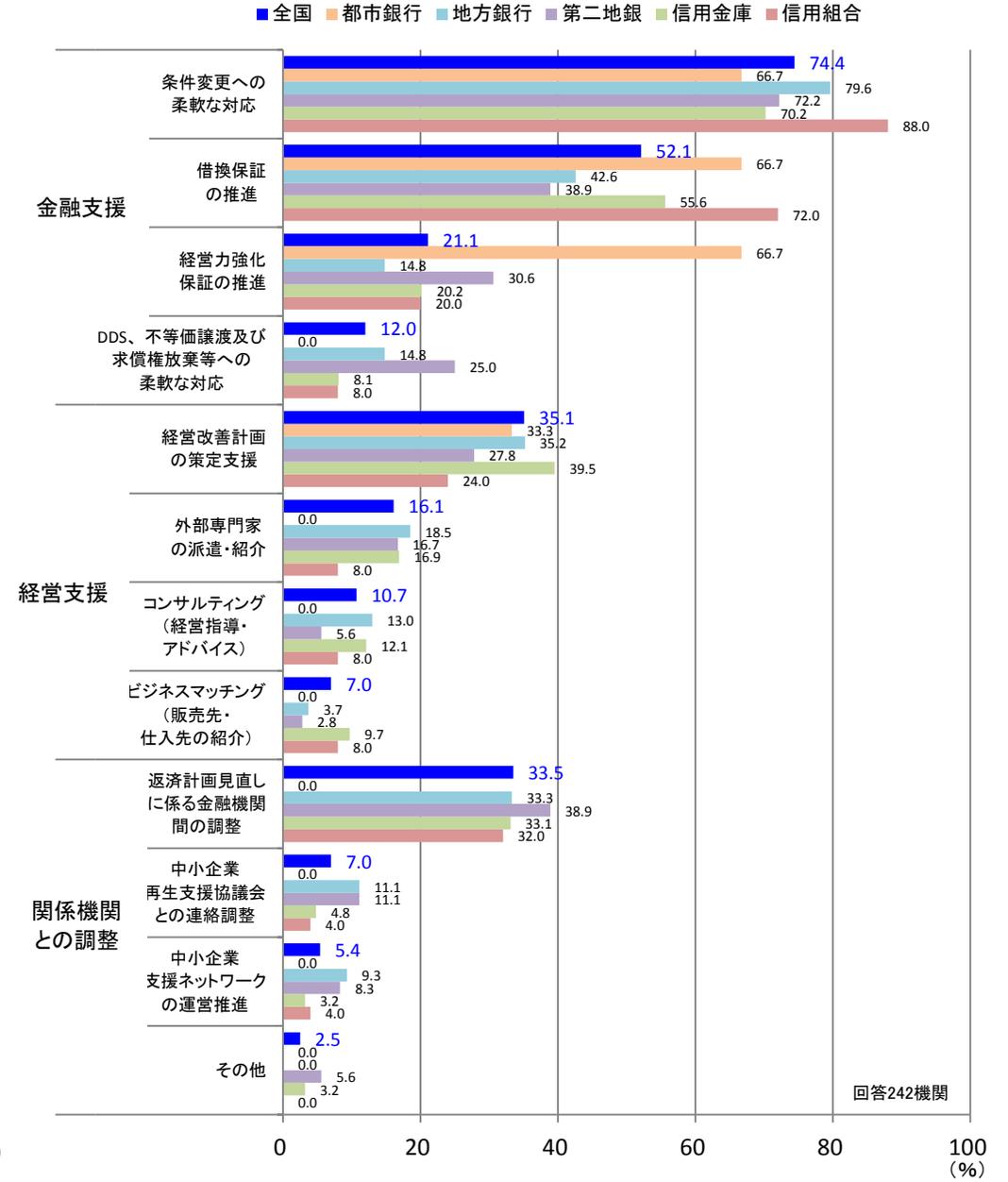


保証協会に期待する条件変更企業への支援
(地域別)



回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。

保証協会に期待する条件変更企業への支援
(金融機関業態別)



回答率(%)は「当該項目の回答数」を「回答機関数」で除して算出。複数回答のため、合計100%を超える。